

第1章 令和4年（2022年）の主な取り組み

1 くまもと農林水産業の1年

1
～
3
月

- 熊本県青年農業者クラブ70周年記念式典を開催（1月21日）
- 令和2年7月豪雨災害地域において加工用ばれいしょの産地化に向けた試験栽培を開始（1月28日）
- 熊本県産あさり緊急出荷停止宣言発令（2月1日）
- 熊本県産あさりブランド再生協議会を初開催（2月22日）
- 令和3年産米の食味ランキングにおいて、「ヒノヒカリ（県北）」が最高ランクの「特A」評価を獲得（3月2日）
- 「くまもと黒毛和牛」誕生1周年記念フェアを実施（3月18日～21日）

4
～
6
月

- 災害リスクを低減させる森林（もり）づくりの推進に向け、「林地保全に配慮した林業のガイドライン」を策定（4月）
- 世界かんがい施設遺産サミットin Kumamotoを開催（4月11日）
- 熊本県産あさりの出荷再開（4月12日）
- 首都圏に向けて、県統一黒毛和牛ブランド「くまもと黒毛和牛」の生体出荷を開始（5月21日）
- 田んぼダムの普及に向けた「田んぼジュニアハイスクール」を開催（6月9日）
- 5月に旧堰が倒壊した松の木堰の新堰による試験通水開始（6月17日）
- 「熊本県産あさりを守り育てる条例」及び「熊本県産あさりを守り育てる条例施行規則」を公布（6月24日）
- 宇土北部地区農道の全線開通（6月30日）

7
～
9
月

- ゼンカイミート（株）が令和2年7月豪雨からの復旧・復興に向けて移転・新築工事に着手（7月13日）
- 直売所間の商品交流やイベント開催による地産地消推進の取り組み「The unity of Kumamoto ぐるっと くまもと」プロジェクト始動（7月22日）
- 品質の確かな県産木材の安定供給体制を構築するための「くまもと県産材SCM協同組合」設立（8月12日）
- カレニア赤潮による漁業被害の発生（7月～8月）

10
～
12
月

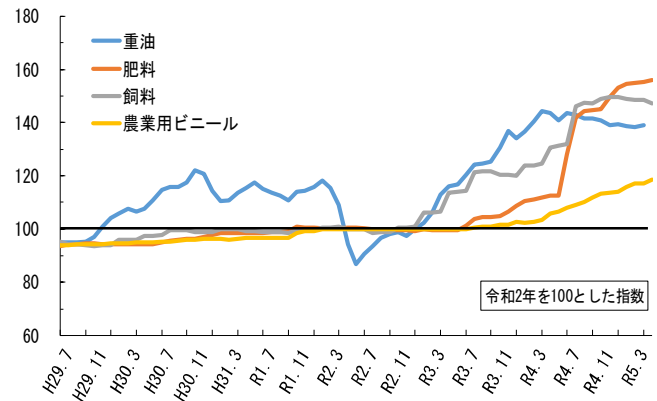
- 熊本地震によって甚大な被害が発生した秋津地区の農地や農業用施設の復旧完了を祝う竣工記念式典を開催（10月6日）
- 第12回全国和牛能力共進会（鹿児島開催）全9区中7区に熊本県勢11頭が出品（10月6日～10日）
- 赤潮被害対策に関する緊急要望を実施（10月7日）
- 熊本県と株式会社デンソーの「食」・「農」分野に関する包括連携協定を締結（10月19日）
- くまもと地産地消SNS「KUMA RICH」開設（10月21日）
- 農研センター等の研究（画像解析による天草大王等の雛の雌雄選別）が総務省委託研究に九州で唯一採択（10月7日）
- 田んぼダムの取り組みの普及・拡大に向けた「田んぼダムマイスター講習会」を開催（12月13日）
- 「相良村振興に係る農業農村整備事業検討プロジェクトチーム」が始動（12月22日）
- 第1回半導体拠点推進調整会議を開催（12月26日）

2 10大ニュース

(1) 燃料・資材・飼料等価格高騰に係る対応

- コロナ禍に加え、令和4年（2022年）2月から始まったロシアのウクライナ侵攻を受けて、世界的に原油価格などの物価が高騰しています。
- 本県農業においても、燃料・資材・飼料価格等が高騰したことにより、農業者の生産コストが上昇するなど影響を受けています。農産物は上昇したコストを価格に転嫁することが難しいことから、本県農業への影響は大きなものとなっています。

【燃料・資材・飼料等価格の推移】



（資料）農林水産省「農業物価統計調査」

- 県では、これまで、国に対し支援制度の創設や拡充について要望を実施しています。
- その結果、コスト上昇を緩和するための各種補助事業が創設されたほか、セーフティネット制度の十分な予算確保や燃油価格高騰対策制度では積立金の分割納入が可能となるなど、農林漁業者に寄り添った支援が実現しました。
- また、県独自の肥料価格上昇に対する支援や生産コスト削減につながる資材の導入支援等、令和3年度（2021年度）から令和4年度（2022年度）にかけて総額15億円を超える支援策を切れ目なく実施し、生産コストの削減のための技術導入と経営安定のための対策を一体的に行いました。

【主な県の支援策】

事業名	事業概要
燃料・資材対策	
園芸・特産事業者緊急支援事業	コロナの影響に加え、燃油や資材コスト上昇により影響を受けた園芸・特産農家に対し、省エネ資機材や局所施肥機等の導入を支援
生産資材価格高騰緊急対策事業	生産資材価格高騰に対し、コスト削減に資する資機材導入、集出荷施設等の光熱費高騰対策に資する取組みに対する助成
脱炭素型施設園芸緊急対策事業	①ヒートポンプ等の省エネ機器導入の支援 ②農業用木質ペレットの県内農業者への継続した供給支援
肥料対策	
国産肥料安定供給支援事業	県内由来の未利用資源等（牛ふん堆肥等）を用いた特殊肥料と普通肥料等を組み合わせた指定混合肥料の生産支援や栽培実証の一部を助成
肥料価格高騰緊急支援事業（秋肥、春肥分）	国の肥料価格高騰対策事業に県独自の上乗せ助成（肥料費増加分の15%分）
飼料対策	
配合飼料高騰緊急支援事業	配合飼料価格安定制度における令和4年度生産者積立金の増額分（200円/t）を助成
熊本酪農飼料自給力向上緊急対策事業	本県独自のコスト削減や自給飼料の利用拡大に係る取組要件を設定し、その要件に取り組む者に対して、購入粗飼料コスト上昇分の一部を助成
電気料金対策	
農業水利施設電気料金高騰対策事業	電気料金高騰の影響を受けている土地改良区に対して、農業水利施設の電気料金上昇分の一部を助成

(2) 熊本県産あさりを守り育てる取組みを推進！

- 令和4年（2022年）1月、熊本県産と偽装されたあさがりに流通していることが判明しました。県では、産地偽装根絶に向け、「産地偽装あさりの一掃」、「徹底的な調査・取締り」、「純粋な県産あさりの流通戦略」の3原則に基づき、取組みを推進しました。
- また、関係者の責務・役割を明確化するため、「熊本県産あさりを守り育てる条例」を制定しました（施行日：令和4年(2022年)7月1日）。あさりの資源の保全・回復やトレーサビリティシステムを活用した適正な流通管理等に取り組んでいます。
（詳しくは、P.14のコラム参照。）



稚貝保護のための網袋設置



漁業者による効果調査

(3) 半導体拠点推進調整会議を設置！

- TSMC進出に伴う土地利用調整にあたり、農振除外を伴う開発案件については、企業進出やそれに伴う住宅団地の整備を迅速かつ円滑に進めるとともに、農業振興と企業進出の両立を図る必要があります。
- そのため県では、市町村が行う土地利用調整を支援することで、農用地の集団化や農業の効率化に支障がないよう、進出企業や住宅を集約・誘導することを目的として、半導体拠点推進調整会議を設置し、令和4年（2022年）12月に第1回会議を開催しました。



第1回半導体拠点推進調整会議

(4) 秋津地区の作付け全面再開！

- 平成28年（2016年）熊本地震によって甚大な被害が発生した、熊本市東区の秋津地区一帯の農地（約170ha）で災害復旧工事の完了を祝う記念式典が令和4年（2022年）10月6日に執り行われました。
- 当該地区では、地震に伴う地割れや地盤沈下で、農地、排水路や農道、パイプライン等に被害が発生しました。
- 県では、県営災害復旧事業により農地の区画拡大（大区画化）等の「創造的復興」に取り組む、7年ぶりに作付けが全面再開しました。



竣工記念式典



全面再開後の田植え状況

(5) 田んぼダム の 取組みを 全県へ 普及・拡大 するため、田んぼダム マイスター 講習会 を 実施！

- 田んぼダムを推進する地域の中心となる人材『田んぼダムマイスター』を育成するため、令和4年（2022年）12月13日に県庁で講習会を行いました。
- 講習会には、多面的機能支払交付金活動組織、土地改良区、国、県、市町村、水土里ネット熊本を合わせ、171名もの参加がありました。
- 講演会冒頭、蒲島知事は、「講習会に参加された皆様には“田んぼダムマイスター”として各地域の取組みをけん引してほしい」と“緑の流域治水”の一翼を担う田んぼダムの取組みに対する強い想いを述べました。
- 今後も引き続き、田んぼダムマイスターの育成を実施し、各地域において、普及・拡大を担っていただく予定としています。



知事挨拶



会場の様子

(6) 令和2年7月豪雨からの復旧・復興に向けてゼンカイミート（株）が 移転・新築工事に着手！

- 食肉処理を行うゼンカイミート（株）の工場は、令和2年7月豪雨で被災し、被災直後から、移転・新築に向け、用地確保や施設の設計を進めてきました。
- 令和4年（2022年）7月、新工場の施工業者が決定したことから、関係者により起工式が執り行われました。なお、操業再開は令和5年（2023年）10月を予定しています。



ゼンカイミート起工式



建設中の新工場（R4.12月時点）

(7) 首都圏へ「くまもと黒毛和牛」生体出荷を開始！

- 「くまもと黒毛和牛※」の更なる全国的な認知度向上と販路拡大を目的に、国内最大の食肉流通拠点である「東京都中央卸売市場」等の首都圏市場へ生体出荷を開始しました。この取組開始を広くPRするため、令和4年（2022年）5月には、県内での出発式や、東京で知事トップセールスを実施しました。

※令和3年3月に誕生した県統一黒毛和牛銘柄



首都圏出荷出発式



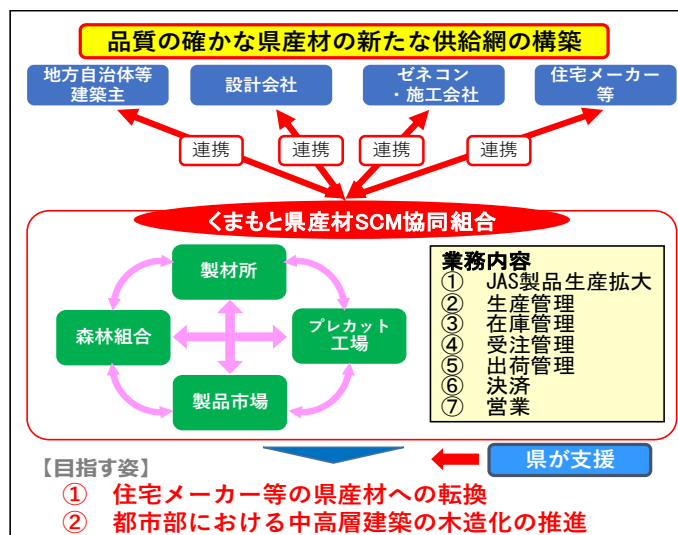
東京都で開催したお披露目会

(8) 木材の安定供給体制の構築「くまもと県産材SCM協同組合」設立！

- ウッドショックで、輸入材の使用には大きなリスクを伴うことが住宅産業界で顕在化したことに加え、令和3年（2021年）10月の改正木材利用促進法の施行により、国産材を利用した中高層建築物の木造化の動きが加速しています。
- これらの状況を踏まえ、品質の確かなJAS製品の増産や、中大規模建築物に必要な大量の木材を一括して供給可能な組織として、県内の製材・加工・流通に関わる25社の出資による新たな協同組合が設立されました。
(SCM：サプライチェーンマネジメント)



創立総会（R4.7.12）
※設立登記（R4.8.12）



協同組合の取り組み内容（イメージ）

(9) カレニア赤潮による漁業被害の発生

- 八代海を中心にカレニア ミキモトイ赤潮が発生。トラフグやマダイ、シマアジなど多くの養殖魚がへい死し、平成12年（2000年）に次ぐ過去2番目の被害額となりました。
- 被害を受けた養殖業者の早期事業再開に向け、中間魚購入などを支援しています。



へい死した養殖魚



赤潮駆除剤の散布

(10) みどりの食料システム戦略の取組み推進！

～「熊本県みどりの食料システム基本計画」の策定～

- 農林水産業における環境問題への対応が課題となるなか、「みどりの食料システム法」の施行を受け、農林水産業関係だけでなく流通・販売関係団体も含めた「みどりの農林水産業推進協議会」を設立し、県の基本計画策定に向けて協議するなど検討を重ねました。
- 「稼げる農林水産業」の最大化と「環境にやさしい農林水産業」の両立を目指し、県内全市町村と連名で基本計画を策定して、取組みを推進します。

3 災害等への対応

(1) 令和2年7月豪雨からの復旧・復興

- 「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」では、新たな治水の方向性を踏まえた治水・防災対策や、被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興を目指し、直ちに実施する喫緊の取組みと、5年、10年先を見据えた持続可能な地域の実現に向けた将来ビジョンを示しています。
- 農林水産関連では、地域と連携した「田んぼダム」の推進、山地災害の早期復旧と治水施設の整備、多様で健全な災害に強い森づくりなどを進めています。

「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」
(熊本県ホームページ)



田んぼダム普及に向けた「田んぼジュニアハイスクール」の開催

(2) コロナウイルス感染症への対応

- 農林水産業においては、冠婚葬祭や各種イベント等の中止・縮小による需要減退や、外食・業務用需要の減少、インバウンドの減少により畜産物、水産物、野菜、花き等幅広い品目で影響がみられました。令和2年（2020年）1月～令和4年（2022年）3月まで、149億円の影響が確認されています。
- 需要が減少した県産農林水産物の消費喚起のため、ラジオやテレビ等を活用した広報のほか、キャンペーンの実施や、牛肉等の学校給食への提供支援と食育授業を行いました。（令和3年度（2021年度））



小学校での食育授業
県産牛肉を使用した給食（右）



魚屋でのキャンペーン

(3) 熊本地震からの創造的復興

- 担い手への農地集積、高収益作物の導入など、新たな芽吹きによる地域農業の再生を目指し、令和4年度（2022年度）に立野地区（南阿蘇村）の基盤整備に着手しました。令和5年度（2023年度）からは区画整理工事に着手する予定です。
- 地表に断層が出現（地表地震断層）した大切畑ダム（西原村）の復旧工事については、取水トンネル工、仮排水トンネル工が竣工し、現在、ダムの本体工事中です。令和7年度（2025年度）の工事完了を目指しています。



大切畑ダムの復旧状況（R5.2月）

「平成28年熊本地震に関する情報」
(熊本県ホームページ)



第2章 本県農林水産業の姿

1 本県の概要

- 熊本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や、美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれています。また、阿蘇山、九州山地に源を発する菊池川、球磨川などの一級河川や豊富な地下水など、水資源にも恵まれています。
- 三方を山に囲まれているため、天草地方を除いて、全体的に内陸性気候であり、年平均気温は熊本市で17℃前後、阿蘇地方で13℃前後となっています。
- 年間降水量は、平地で約1,700mm、山地で約2,300mmとなっています。
- このような豊かな自然の恵みを背景に、多様な農林水産物が栽培されています。

【主要指標】

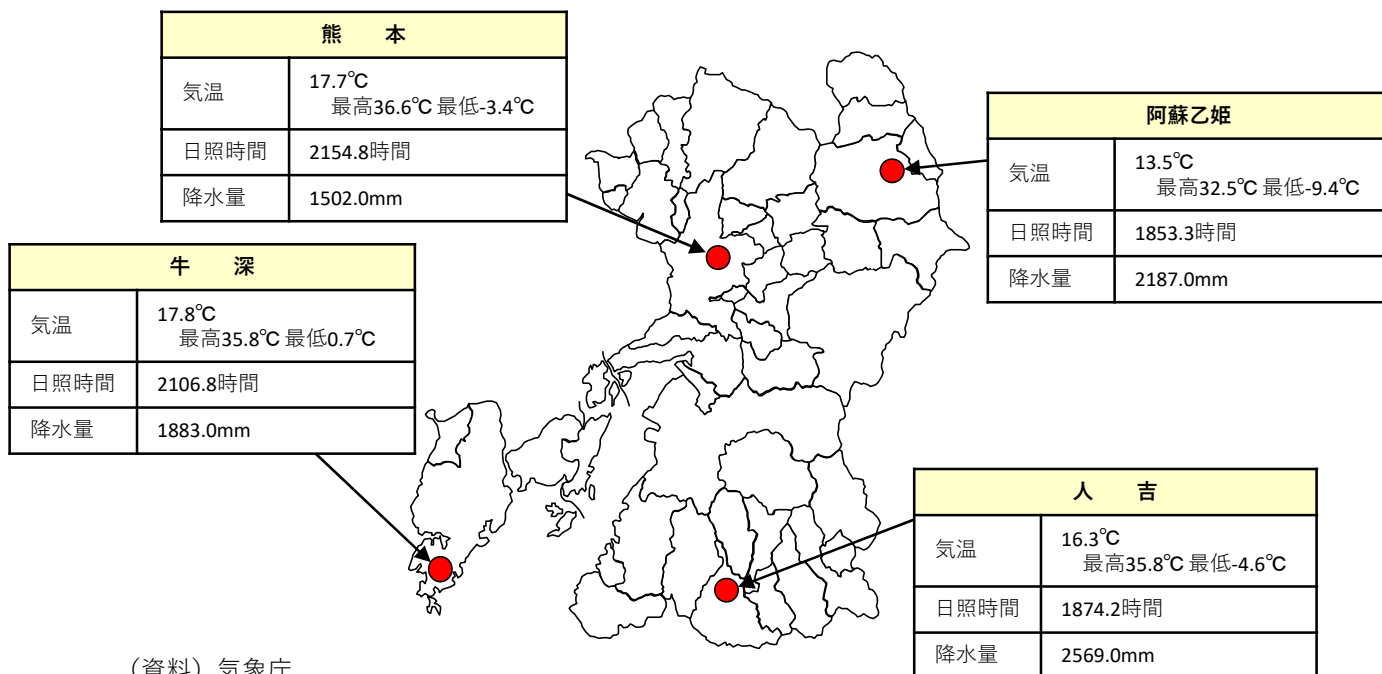
面積	7,409km ²	令和4年全国都道府県市区町村別面積調
総人口	171万8千人 (男 81万4千人 女 90万4千人)	令和4年10月1日人口推計
総世帯数	71万9千世帯	令和2年国勢調査人口等基本集計
県内総生産	6兆1,051億円 (うち農林水産業 1,779億円)	令和2年度県民経済計算報告書

【市町村】

14市23町8村 (45市町村)



【気象 (R4)】



2 概要

(1) 農業

- 農業生産の主要な担い手である認定農業者数は全国第3位、基幹的農業従事者数は全国第4位です。
- 令和3年（2021年）の農業産出額は全国第5位、生産農業所得は全国第4位です。
- 全国第1位が7品目（トマト、すいか、不知火類（デコポン）、葉たばこ、いぐさ、宿根カスミソウ、カリフラワー）あり、その他にも、なす、メロン、しょうが、なつみかん、くり、トルコギキョウなど全国的にも上位を占める品目が数多くあります。

【全国に占めるくまもと農業の地位】

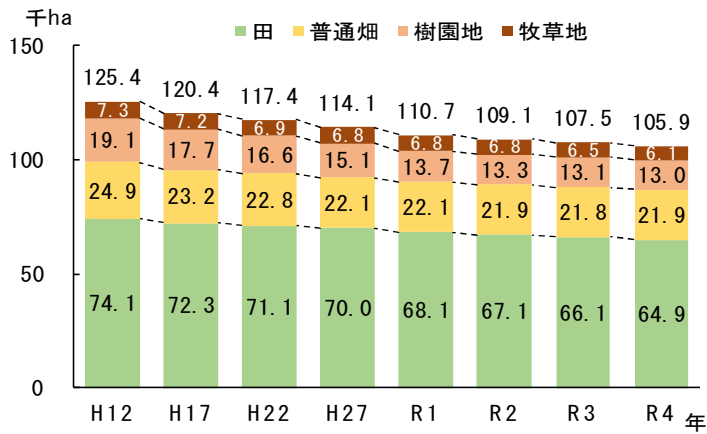
区 分	単 位	全 国	九 州	熊 本 県	熊本県の全国に占める		
					順位	割合 (%)	
農 業 経 営 体 数 (R4年)	千経営体	975.1	150.2	31.8	8	3.3	
認 定 農 業 者 数 (R4.3月末)	千人	222.4	43.8	10.1	3	4.5	
基 幹 的 農 業 従 事 者 数 (R4年)	千人	1,225.5	204.3	47.8	4	3.9	
耕 地 面 積 (R4年)	千ha	4,325.0	511.1	105.9	13	2.4	
田 面 積 (R4年)	千ha	2,352.0	299.0	64.9	13	2.8	
畑 面 積 (R4年)	千ha	1,973.0	212.1	41.0	8	2.1	
樹 園 地 (R4年)	千ha	258.6	50.5	13.0	6	5.0	
牧 草 地 (R4年)	千ha	591.3	13.4	6.1	4	1.0	
農 業 産 出 額 (R3年)	億円	88,384	17,905	3,477	5	3.9	
生 産 農 業 所 得 (R3年)	億円	33,479	7,154	1,485	4	4.4	
主 要 農 産 物 の 収 穫 量	ト マ ト (R3年)	千t	725.2	200.2	132.5	1	18.3
	す い か (R3年)	千t	319.6	...	49.3	1	15.4
	不 知 火 類 (デコポン) (R2年)	千t	46.6	...	19.6	1	42.1
	葉 た ば こ (販 売 量) (R3年)	千t	14.2	7.6	2.7	1	18.9
	い ぐ さ (R3年)	千t	6.4	...	6.4	1	対主産県比 99.5
	宿 根 カ ス ミ ソ ウ (R3年)	千本	50,800	...	19,600	1	対主産県比 38.6
	カ リ フ ラ ワ ー (R3年)	千t	21.6	...	2.5	1	11.7
	な す (R3年)	千t	297.7	62.9	33.3	2	11.2
	メ ロ ン (R3年)	千t	150.0	...	25.4	2	16.9
	し ょ う が (R3年)	千t	48.5	...	5.2	2	10.8
	な つ み か ん (R2年)	千t	30.1	...	6.2	2	20.6
	く り (R3年)	千t	15.7	...	2.2	2	14.1
	ト ル コ ギ キ ョ ウ (R3年)	千本	85,400	...	10,600	2	対主産県比 12.4
	い ち ご (R3年)	千t	164.8	...	12.1	3	7.3
	ア ス パ ラ ガ ス (R3年)	千t	25.2	...	2.4	3	9.4
	う ん し ゅ う み か ん (R3年)	千t	749.0	...	90.0	4	12.0
か ん し ょ (R3年)	千t	671.9	...	18.0	6	2.7	
水 稻 (R4年)	千t	7,269.0	741.3	156.8	16	2.2	

(資料) 農林水産省「2020年農林業センサス」、「作物統計」、「生産農業所得統計」他

※主要農畜作物の収穫量の欄の「・・・」は、主要産地県のみ調査されている作物。順位は主産地県中の順位。

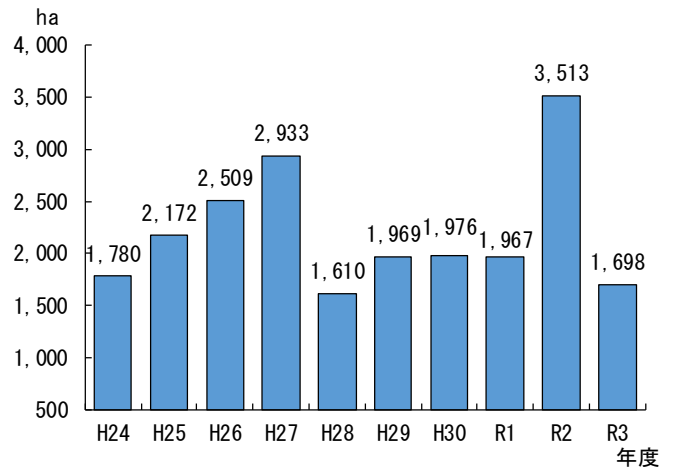
- 耕地面積は、住宅その他の建物施設用地等への転用が進んでいることなどにより、緩やかな減少傾向が続いています。
- 平成24年度（2012年度）から担い手への農地集積に向けて、年間2,100haの農地集積を目標に取り組みを開始しました。
- 地域での話合いの結果、平成24年度（2012年度）から令和3年度（2021年度）の10か年で22,127haの集積が図られました。

【耕地面積の推移】



(資料) 農林水産省「耕地及び作付面積統計」

【農地集積の状況】



(資料) 県農林水産部調べ

農地集積加速化の取組み

基盤整備を契機とした農地集積の推進

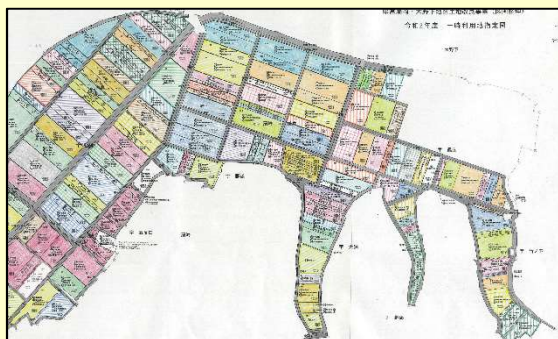
扇崎・大野下地区（玉名市）では、工事着手前に、地区全体の約9割の農地を一括して農地中間管理機構へ貸付けを行い、機構集積協力金も活用しました。

令和3年度に設立した農事組合法人岱明を中心に農地の集約化を図りました。

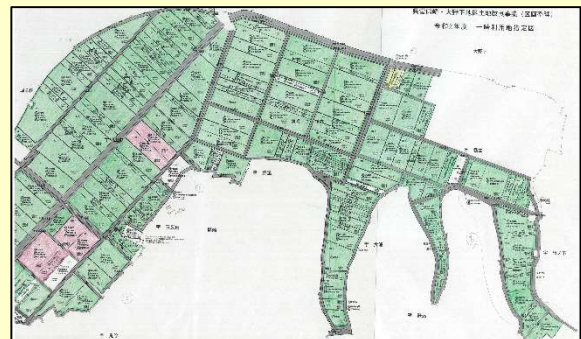
<工事概要>

工種：区画整理 受益面積：41.5ha 事業期間：平成26年度～令和4年度

集約化前(R2)の担い手数：19経営体



集約化後(R3)の担い手数：2経営体



農地集積計画図

- 令和3年度末時点：集積率 81%、集約化率※ 79%
- 地域集積協力金は、事業負担金、水路等の維持管理費等に充当する予定。

※集約化率：地域の農地面積に占める同一の担い手が耕作する1ha以上のひとまとまりの農地面積の割合

(2) 畜産

- 令和4年（2022年）の家畜の飼養状況について、乳用牛では飼養戸数494戸、飼養頭数43,600頭、肉用牛では飼養戸数2,170戸、飼養頭数133,600頭となっています。
- また、豚については飼養戸数146戸、飼養頭数339,400頭、採卵鶏については飼養戸数38戸、飼養羽数2,493,000羽、ブロイラーについては飼養戸数67戸、飼養羽数3,848,000羽となっています。

【全国に占めるくまもと畜産の地位】

区分	単位	全国	九州	熊本県	熊本県の全国に占める	
					順位	割合(%)
乳用牛						
戸数	戸	13,300	1,300	494	4	3.71
頭数	頭	1,371,000	103,100	43,600	3	3.18
肉用牛						
戸数	戸	40,400	17,700	2,170	7	5.37
頭数	頭	2,614,000	941,700	133,600	4	5.11
豚						
戸数	戸	3,590	1,130	146	8	4.07
頭数	頭	8,949,000	2,800,000	339,400	10	3.79
採卵鶏						
戸数	戸	1,810	357	38	22	2.10
頭数	千羽	180,096	23,368	2,493	23	1.38
肉用鶏						
戸数	戸	2,100	1,090	67	5	3.19
頭数	千羽	139,230	70,026	3,848	7	2.76

（資料）農林水産省「畜産統計」（R4.2.1）

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会への出品

5年度ごとに開催され、“和牛のオリンピック”と言われる全国和牛能力共進会に県の代表牛が出品し健闘しました。

また、本県初出展となる全国銘柄牛ブースにおいて「くまモン」も登場し「くまもと黒毛和牛」を全国にアピールしました。



全共審査風景



「くまもと黒毛和牛」のPR

(3) 林業

○令和3年（2021年）の林業産出額は190億円で全国7位となっており、このうち木材産出額は168億円で全国4位となっています。

○令和3年（2021年）の素材生産量は1,013千m³で全国6位となっているほか、乾しいたけ生産量は226トンで全国3位となっています。

【全国に占めるくまもと林業の地位】

項目	単位	全国	九州・沖縄	熊本	全国における順位	九州における順位	調査年月日
森林資源（※1）							
林野率	%	67	62	62	32	4	平成29年3月31日
林野面積	千ha	25,048	2,771	463	18	3	
民有林林野面積	千ha	17,341	2,225	398	18	4	〃
人工林面積	千ha	10,204	1,456	280	10	2	〃
人工林率	%	41	53	61	9	3	〃
林業生産（※2）							
林業産出額	億円	4,843	1,140	190	7	3	令和3年次
うち木材産出額	億円	2,666	825	168	4	3	〃
造林（※3）							
民有林造林面積	ha	19,560	4,810	735	6	4	令和2年度
スギ造林面積	ha	6,482	4,046	628	4	4	〃
ヒノキ造林面積	ha	1,076	185	61	6	1	〃
伐採（※4）							
素材生産量	千m ³	21,847	5,444	1,013	6	3	令和3年次
スギ素材生産量	千m ³	12,917	4,538	761	6	3	〃
ヒノキ素材生産量	千m ³	3,079	731	220	3	1	〃
特用林産物（※5）							
乾しいたけ生産量	トン	2,216	1,600	226	3	3	令和3年次
生しいたけ生産量	トン	71,058	9,901	635	30	6	〃
たけのこ生産量	トン	19,917	11,720	2,287	4	3	〃
木炭生産量	トン	12,009	1,072	X	X	X	〃
竹材生産量	千束	916	799	132	2	2	〃
林道（※6）							
民有林林道総延長距離	km	89,324	13,890	2,058	15	3	令和3年3月31日
民有林林道密度	m/ha	5.1	6.7	5.2	24	6	〃
高性能機械導入数（※7）	台数	11,273	2,569	492	4	2	令和3年度
木材産業（※4）							
製材工場数	工場	3,948	637	126	8	1	令和3年次
出力数	kw	737,633	121,461	20,103	10	2	〃
1工場平均出力数	〃	187	191	160	-	-	〃
製材品出荷量	千m ³	9,091	2,380	373	8	3	〃
森林組合（※8）							
森林組合数	組合	610	80	15	14	1	令和4年3月31日
組合員数	人	1,475,466	282,517	35,776	18	4	〃
1組合平均組合員数	人	2,419	3,531	2,385	-	-	〃
林業経営（※9）							
林業経営体数	戸	33,995	6,058	1,255	7	3	令和2年2月1日

（資料）※1 都道府県別森林率・人工林率（林野庁HP）

※2 農林水産省「令和3年 林業産出額」

※3 林野庁「森林・林業統計要覧2022」

※4 農林水産統計「令和3年木材需給報告書」

※5 特用林産基礎調査（令和3年）ただし、個人、法人又はその他の団体の個々の秘密に属する事項を秘匿するため、統計数値を公表していない

※6 民有林森林整備施策のあらまし（令和5年2月）

※7 林野庁林業機械保有状況調査（令和3年度版）

高性能機械導入台数は、フェラーバンチャー、ハーベスタ、プロセッサ、スキッド、フォワーダ、タワヤーダ、スイングヤーダ、フォーク収納型グラブバケット、その他高性能林業規格の8種類の合計

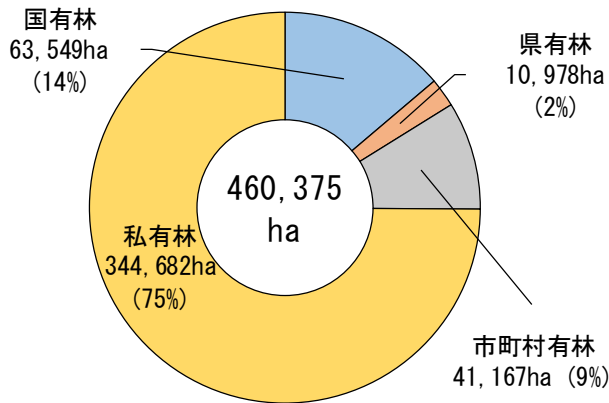
※8 農林水産統計「令和3年度森林組合一斉調査結果」

※9 農林水産省統計部「2020年世界農林業センサス」

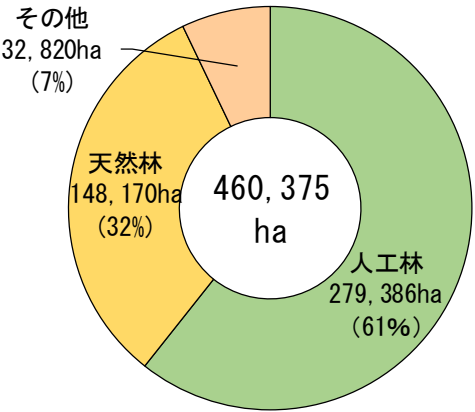
- 令和4年（2022年）4月現在の本県森林面積は、460,375haであり、県土全体の約6割を占めています。
- 所有形態別の構成比は、国有林14%、公有林（県＋市町村）11%、私有林75%となっています。
- 林種区分別の構成比は、人工林61%、天然林32%、その他7%となっています。
- 保安林面積は、国有林62,190ha(35%)、民有林117,066ha(65%)となっています。機能別では、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林が全体の94%を占めています。
- 令和4年（2022年）4月現在で、スギ、ヒノキ人工林のうち、主伐が可能な森林面積（スギ41年生以上、ヒノキ46年生以上）は191,203haとなっており、全体の83%を占めています。

【森林面積】

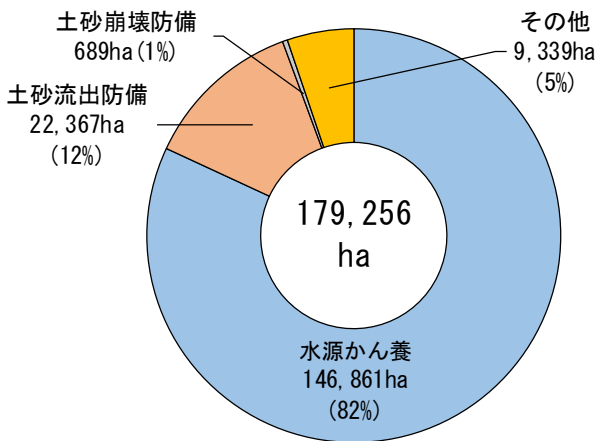
① 所有形態別森林面積



② 人工林・天然林の割合

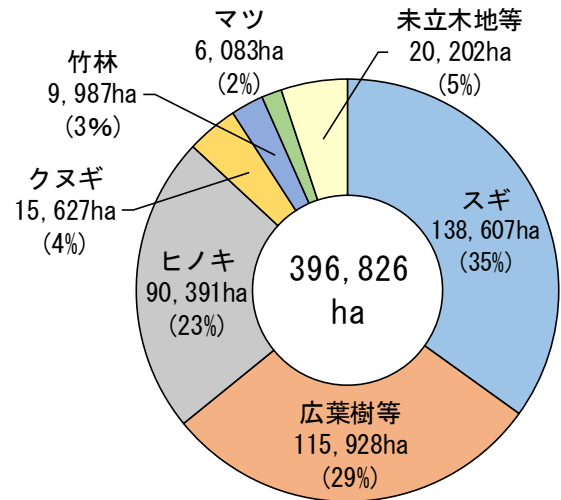


③ 保安林の面積（兼種含む）

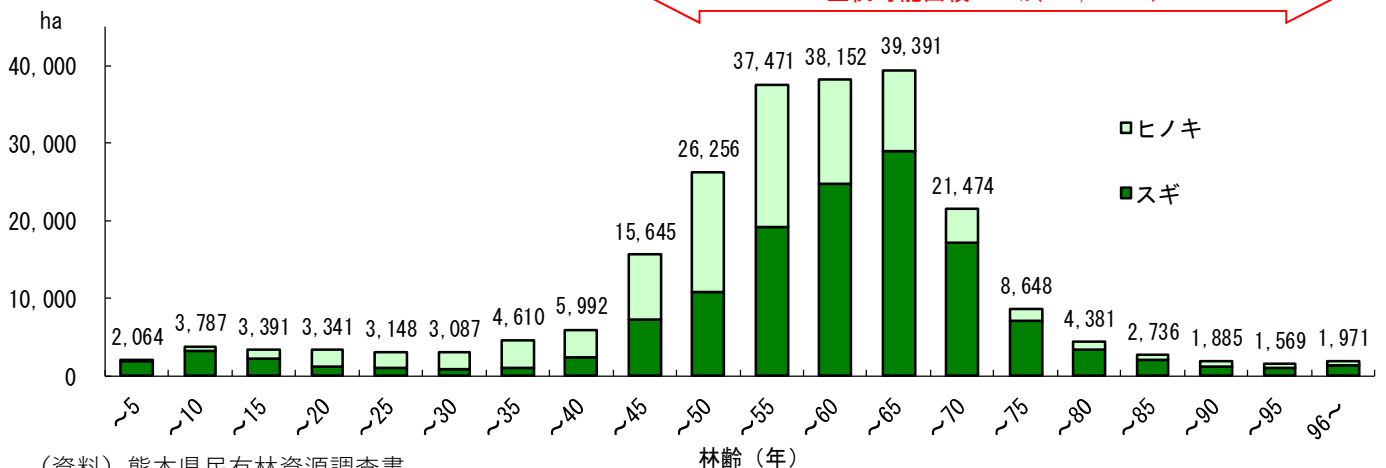


（うち国有林62,190ha、民有林117,066ha）

④ 民有林の樹種別面積



⑤ 民有林の林齢構成（面積）



（資料）熊本県民有林資源調査書

(4) 水産業

- 令和3年（2021年）の海面養殖業の産出額は全国第4位です。
- 海面養殖業では、全国第2位のしまあじ、ふぐ類、まだい、全国第3位のくるまえび、全国4位ののり類、まあじ、真珠など、全国的に上位を占める品目が数多くあります。
- また、海面漁業では、たちうお（全国第2位）、このしろ（全国第3位）、くるまえび（全国第6位）など、全国上位の品目もあります。

【全国に占めるくまもと水産業の地位】

項 目		単 位	全 国	九 州	熊 本	熊本県の全国に占める		
						順位	割合 (%)	
漁業経営体数	(H30)	経営体数	79,067	18,801	2,829	9	3.6	
漁業就業者数	(H30)	人	151,701	36,972	5,392	9	3.6	
漁船隻数	(H30)	隻	132,201	33,663	4,800	11	3.6	
海面漁業産出額	(R3)	億円	8,037	1,249	43	32	0.5	
海面養殖業産出額	(R3)	億円	4,515	1,875	299	4	6.6	
海面漁業漁獲量	(R3)	t	3,193,785	469,218	11,836	31	0.4	
海面養殖業収穫量	(R3)	t	926,641	268,264	53,537	8	5.8	
内水面漁業漁獲量	(R3)	t	18,904	244	33	26	0.2	
内水面養殖業収穫量	(R3)	t	32,854	13,568	409	13	1.2	
養殖 主 な 収 穫 量	しまあじ	(R3)	t	3,836	1,441	763	2	19.9
	ふぐ類	(R3)	t	2,833	1,986	478	2	16.9
	まだい	(R3)	t	69,441	15,728	9,754	2	14.0
	くるまえび	(R3)	t	1,253	503	245	3	19.6
	のり類	(R3)	t	237,255	138,775	35,939	4	15.1
	まあじ	(R3)	t	586	94	31	4	5.3
	真珠	(R3)	kg	12,967	6,156	524	4	4.0
漁業 主 な 漁 獲 量	たちうお	(R3)	t	7,190	3,539	871	2	12.1
	このしろ	(R3)	t	3,698	816	465	3	12.6
	くるまえび	(R3)	t	213	64	13	6	6.1
	その他海藻	(R3)	t	16,617	3,716	606	10	3.6
	あさり類	(R3)	t	4,928	229	38	11	0.8
	まだい	(R3)	t	16,138	5,124	372	16	2.3

(資料) 農林水産省「漁業センサス」、「農林水産統計年報」

あさりの産地偽装への対応

あさりの産地偽造問題に対し、熊本県では、「産地偽装あさりの一掃」、「徹底的な調査・取締り」、「純粋な県産あさりの流通戦略」の3原則に基づき、関係者一丸となって取り組んでいます。

○「熊本県産あさり緊急出荷停止宣言」

令和4年2月1日、「熊本県産あさり緊急出荷停止宣言」を行い、全国の店頭から偽装あさりが一掃されました。

○「産地偽装110番」の開設

「産地偽装110番」を開設し、寄せられた情報に対して、調査・指導を行っています。

○「熊本県産あさりブランド再生協議会」の設置

純粋な県産あさを適正に流通・販売するための「熊本モデル」の構築に向け、取り組みを進めています。

R4年6月「熊本県産あさりを守り育てる条例」を公布

ポイントⅠ 漁場の保全・改善

『あさり資源特別回復区域』を指定(13条)
[蓄養が行われている漁場]

『あさり資源育成促進区域』を指定(14条)
[県産あさり資源に注力する漁場]

＋ 県産あさりの育成

- 漁場環境保全策および資源回復・育成案への支援(11条、12条)
- 稚貝保護のため被覆網等のソフト事業
- 覆砂実施等の公共事業
- 県水産研究センター、広域本部水産課からの技術指導等(15条)

ポイントⅡ 適正な流通・販売

『熊本県産あさり販売協力店』の
認証(16条)

- 生産情報の発信(17条)



(産地証明書)

ポイントⅢ 書面の備付け等

『入出荷記録等の
備付けと保存』
(18条、19条)

- 保存期間は3年間

- 入荷及び出荷伝票 等
- 養殖記録 等

- 報告⇨公表、通報(20条、22条)

『熊本県産』等と表示した
あさが対象

くまもとの豊かな漁場

熊本県は、有明海、八代海、天草灘の三海域からなる豊かな漁場を有し、それぞれに特色ある漁業(採貝漁業、漁船漁業、養殖業など)が営まれています!

- 🐟 有明海:潮の干満差が大きく、日本最大の干潟を有しています。
- 🐟 八代海(不知火海):湾北部は干潟域が広がり、内湾性の特徴が強く、湾中部以南は、徐々に外洋性の特徴を有しています。
- 🐟 天草灘:多くの曾根や瀬が点在し、瀬付きの底魚や回遊魚等の好漁場となっています。



有明海・御興来海岸(宇土市網田)



八代海で操業する打瀬船(葦北郡芦北町)

3 生産

(1) 農業

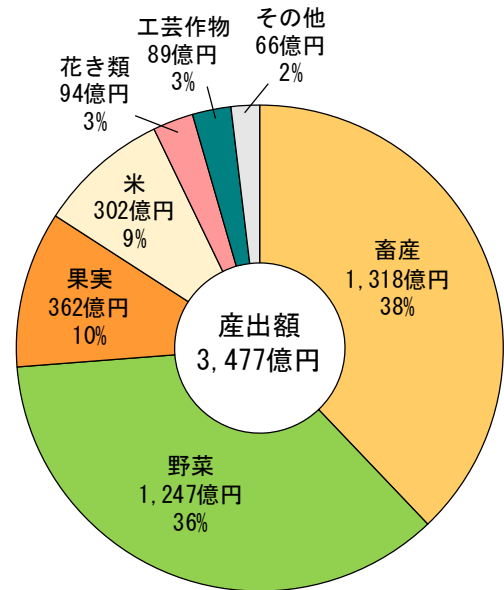
- 令和3年（2021年）の農業産出額は、肉用牛や鶏が、コロナ禍からの回復に伴う価格の上昇等により増加したため、前年より70億円（+2.1%）増加の3,477億円となっています。
- 主な内訳は、畜産1,318億円（構成比38%）野菜1,247億円（36%）、果実362億円（10%）、米302億円（9%）、花き94億円（3%）、工芸作物89億円（3%）等となっています。
- 令和3年（2021年）の生産農業所得は1,485億円で、前年より10億円（-0.7%）減少し、全国4位（前年3位）、九州2位（前年1位）となっています。

【農業産出額の全国順位推移】

順位	R元		R2		R3		前年比
	単位	億円	単位	億円	単位	億円	
1	北海道	12,558	北海道	12,667	北海道	13,108	103%
2	鹿児島	4,890	鹿児島	4,772	鹿児島	4,997	105%
3	茨城	4,302	茨城	4,411	茨城	4,263	97%
4	千葉	3,859	千葉	3,852	宮崎	3,478	104%
5	宮崎	3,396	熊本	3,407	熊本	3,477	102.1%
6	熊本	3,364	宮崎	3,348	千葉	3,471	90%
7	青森	3,138	青森	3,262	青森	3,277	100%
8	愛知	2,949	愛知	2,893	愛知	2,922	101%
9	栃木	2,859	栃木	2,849	栃木	2,693	95%
10	岩手	2,676	岩手	2,741	岩手	2,651	97%
合計	全国	88,938	全国	89,521	全国	88,600	99.0%

（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

【農業産出額に占める品目別割合（R3）】



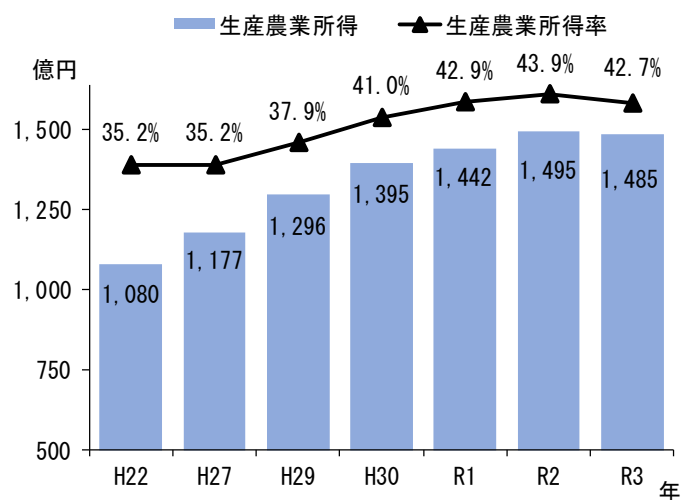
（資料）農林水産省「生産農業所得統計」
（注）野菜にはいも類を含む。

【生産農業所得の全国順位推移】

順位	R元		R2		R3		前年比
	単位	億円	単位	億円	単位	億円	
1	北海道	5,368	北海道	4,985	北海道	4,919	99%
2	鹿児島	1,481	茨城	1,603	鹿児島	1,712	121%
3	茨城	1,470	熊本	1,495	茨城	1,566	98%
4	熊本	1,442	鹿児島	1,415	熊本	1,485	99.3%
5	千葉	1,233	千葉	1,292	宮崎	1,317	118%
6	青森	1,162	青森	1,211	青森	1,294	107%
7	宮崎	1,142	宮崎	1,112	千葉	1,257	97%
8	山形	1,061	愛知	1,112	愛知	1,201	108%
9	栃木	1,055	栃木	1,108	栃木	1,128	102%
10	愛知	1,004	長野	1,064	長野	1,009	95%
合計	全国	33,215	全国	33,604	全国	33,653	100%

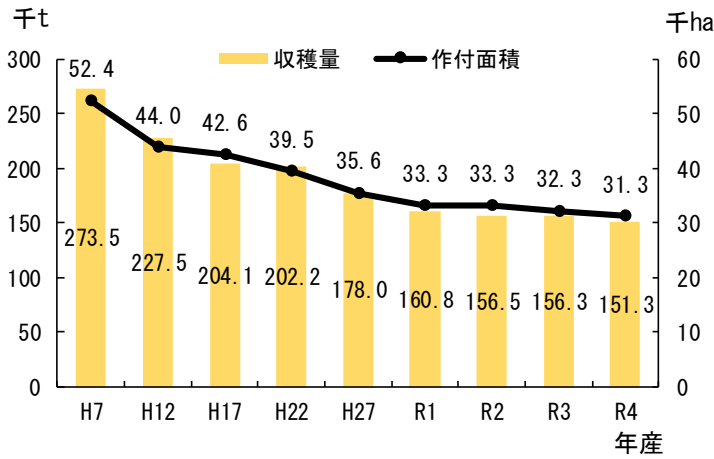
（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

【生産農業所得の推移】



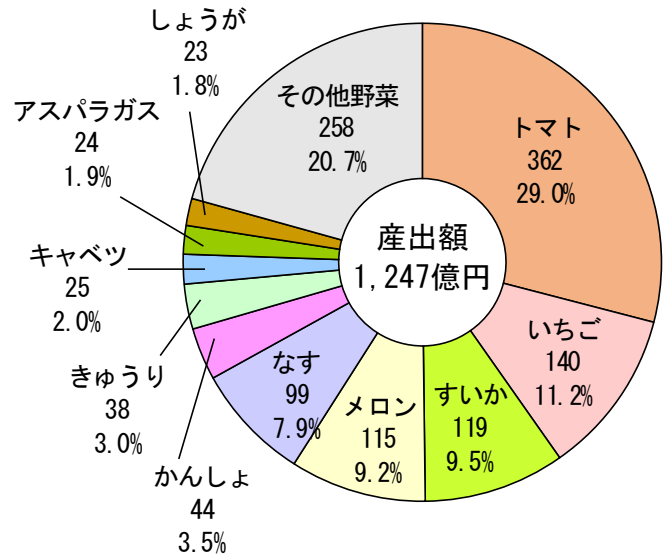
（資料）農林水産省「生産農業所得統計」

【主食用米の生産状況（R4）】



(資料) 農林水産省「作物統計」

【野菜の生産状況（R3）】

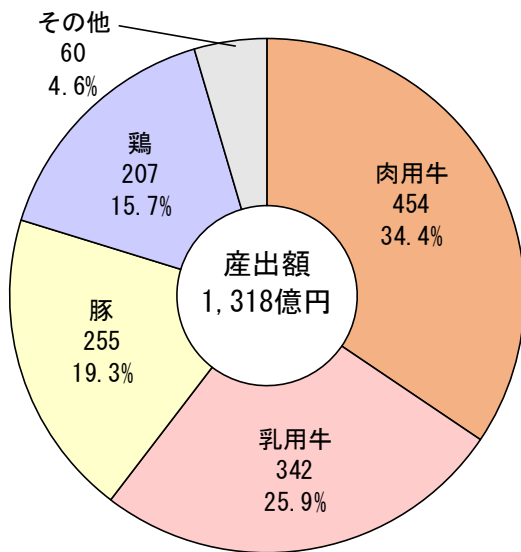


(資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

(注) 産出額は野菜といも類の計。

数値は品目ごとの産出額 (単位: 億円)

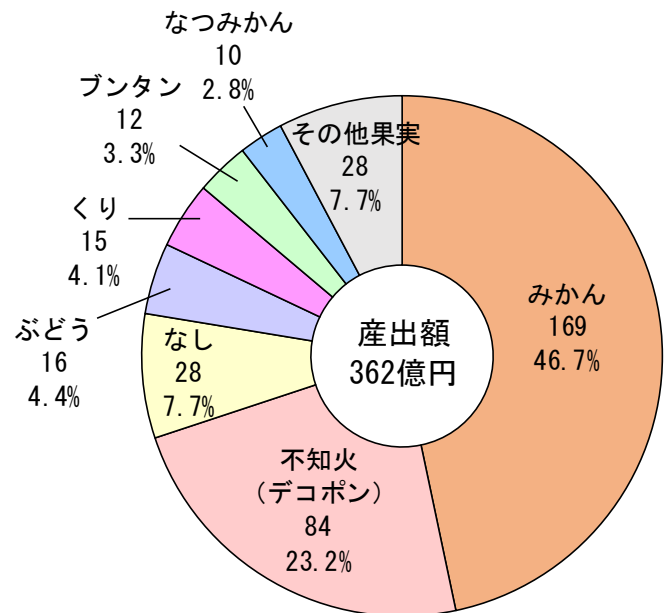
【畜産の生産状況（R3）】



(資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

(注) 数値は畜種ごとの産出額 (単位: 億円)

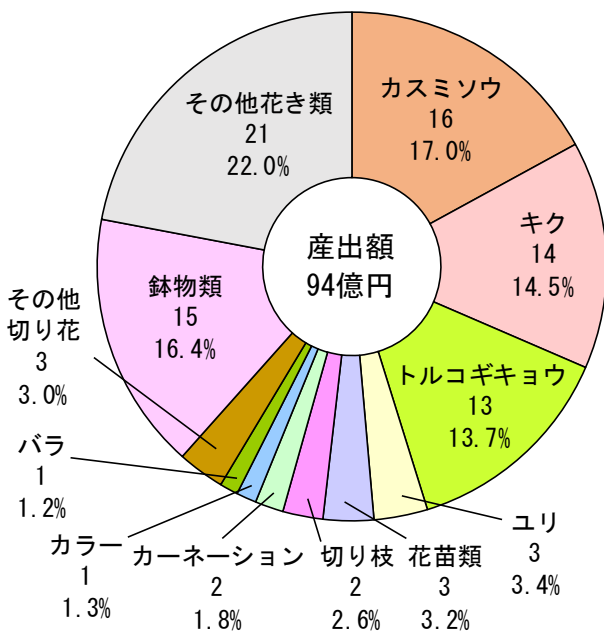
【果実の生産状況（R3）】



(資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

(注) 数値は品目ごとの産出額 (単位: 億円)

【花きの生産状況（R3）】



(資料) 産出額合計: 農林水産省「生産農業所得統計」

品目別産出額: 県農林水産部「花き生産実績」

(注) 数値は品目ごとの産出額 (単位: 億円)

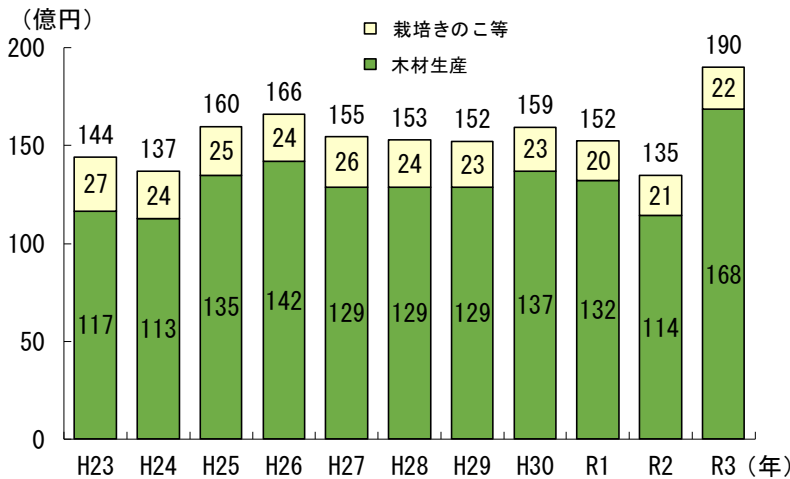


(2) 林業

① 林業産出額

- 令和3年（2021年）林業産出額は190億円で、前年（135億円）に比べて55億円増加し、全国第7位となっています。
- 内訳は、木材生産（スギ、ヒノキ、広葉樹、竹材）が168億円（構成比88%）、木材以外の栽培きのご類生産等（きのご類、薪炭、林野副産物）が22億円（構成比12%）となっています。

【林業産出額の推移】



【林業産出額順位 (R3)】

単位：億円

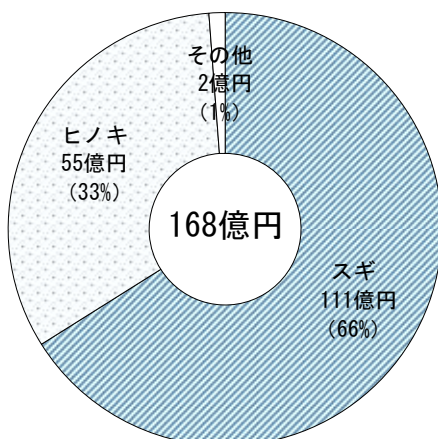
順位	都道府県	産出額	シェア
1	長野	578	12%
2	新潟	442	9%
3	北海道	416	9%
4	宮崎	372	8%
5	大分	230	5%
6	岩手	193	4%
7	熊本	190	4%
8	秋田	157	3%
9	静岡	137	3%
10	福岡	136	3%
合計	全国	4,843	

(資料) 農林水産統計「令和3年 林業産出額」

② 木材生産額

- 令和3年（2021年）林業産出額の木材生産部門については、168億円で全国第4位です。
- 主な内訳は、スギが111億円（構成比66%、全国シェア8%）で全国第3位、ヒノキが55億円（構成比33%、全国シェア9%）で全国第2位となっています。

【林業産出額に占める割合 (木材生産) (R3)】



【木材産出額順位表 (R3)】

単位：億円

順位	都道府県	木材産出額	シェア	順位	都道府県	スギ産出額	シェア	順位	都道府県	ヒノキ産出額	シェア
1	宮崎	322	12%	1	宮崎	298	20%	1	岡山	60	10%
2	北海道	315	12%	2	大分	133	9%	2	熊本	55	9%
3	大分	171	6%	3	熊本	111	8%	3	愛媛	43	7%
4	熊本	168	6%	4	秋田	108	7%	4	静岡	40	6%
5	岩手	150	6%	5	岩手	73	5%	5	高知	38	6%
6	秋田	118	4%	6	鹿児島	73	5%	6	大分	36	6%
7	鹿児島	97	4%	7	青森	68	5%	7	栃木	31	5%
8	青森	86	3%	8	福島	48	3%	8	三重	28	5%
9	福島	85	3%	9	宮城	47	3%	9	岐阜	28	5%
10	栃木	85	3%	10	栃木	45	3%	10	広島	25	4%
合計	全国	2,666		合計	全国	1,473		合計	全国	619	

(資料) 農林水産統計「令和3年 林業産出額」

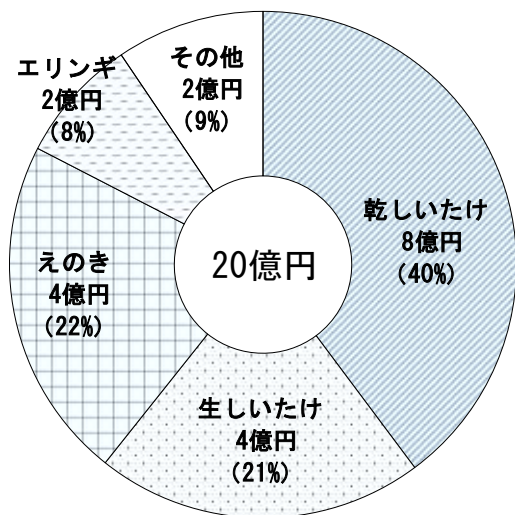
③ 栽培きのご類等部門

- 令和3年（2021年）林業産出額のうち、栽培きのご類全体については、20億円で全国第23位となっています。
- 主な内訳は、乾しいたけが8億円（構成比40%）で全国第3位、生しいたけが4億円（構成比21%）で全国第30位となっています。

【林業産出額に占める割合
（栽培きのご類等）（R3）】

【林業産出額順位表（栽培きのご類等生産）（R3）】

単位：億円



【栽培きのご類全体】				【生しいたけ】				【乾しいたけ】			
順位	都道府県	生産額	シェア	順位	都道府県	生産額	シェア	順位	都道府県	生産額	シェア
1	長野	502	24%	1	徳島	70	12%	1	大分	31	40%
2	新潟	427	20%	2	北海道	36	6%	2	宮崎	13	17%
3	福岡	111	5%	3	秋田	35	6%	3	熊本	8	10%
4	北海道	91	4%	4	長野	35	6%	4	愛媛	4	5%
5	静岡	73	3%	5	栃木	34	6%	5	岩手	3	4%
6	徳島	71	3%	6	岩手	33	6%	6	静岡	3	3%
7	大分	54	3%	7	群馬	27	5%	7	鹿児島	2	2%
8	宮崎	48	2%	8	岐阜	24	4%	8	長崎	2	2%
9	長崎	47	2%	9	福島	24	4%	9	栃木	1	1%
10	香川	40	2%	10	長崎	23	4%	10	新潟	1	1%
								10	鳥取	1	1%
								10	高知	1	1%
23	熊本	20	1%	30	熊本	4	1%				
合計	全国	2092		合計	全国	584		合計	全国	78	

（資料）農林水産統計「令和3年 林業産出額」

企業等の森づくりによる二酸化炭素吸収への取組み

熊本県では、持続可能な未来を実現していくため「2050年熊本県内CO2排出実質ゼロ」を宣言しました。そこで、企業等が森林所有者との間で、熊本県内の森林整備に関する協定を締結するよう支援し、森林の持つ二酸化炭素吸収等の公益的機能に対し理解を深めていただきながら、多様で豊かな森づくりの取組みを推進していきます。



企業・法人等による森づくり活動

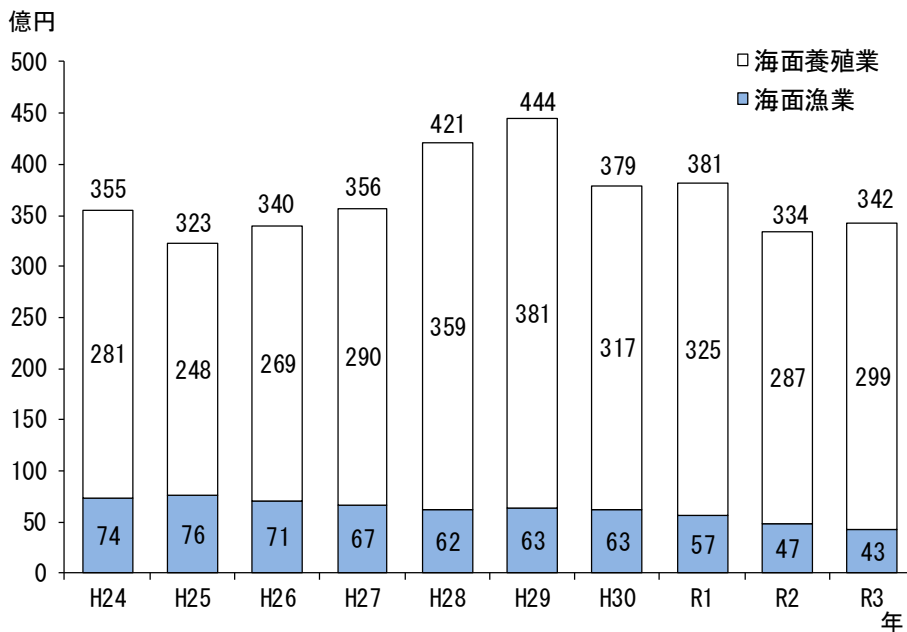


森づくり活動の啓発イベント

(3) 水産業

- 令和3年（2021年）海面漁業及び海面養殖業の産出額は、342億円で前年の334億円に比べ8億円増加し、全国第12位となっています。
- その内訳として、海面漁業産出額は、43億円で前年の47億円に比べ4億円減少し、全国第32位となっています。
- 海面養殖業産出額は、299億円で、前年の287億円に比べ12億円増加し、全国第4位となっています。

【海面漁業及び海面養殖業の産出額の推移】



マダイ

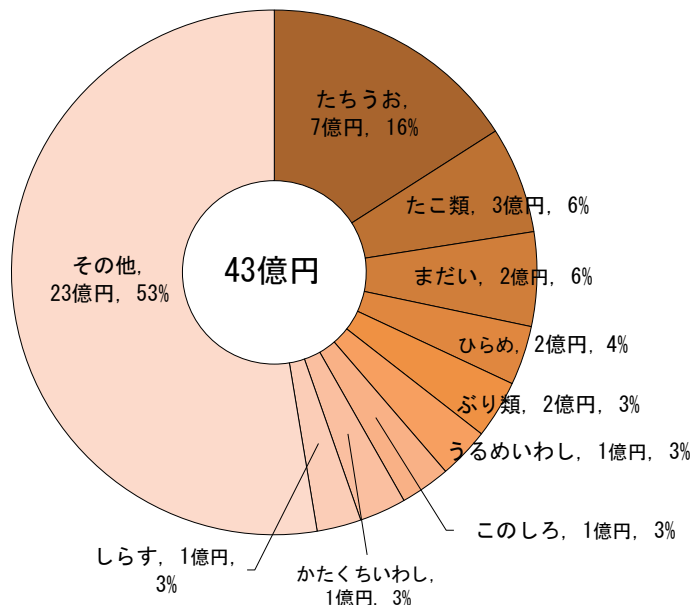


ノリ養殖

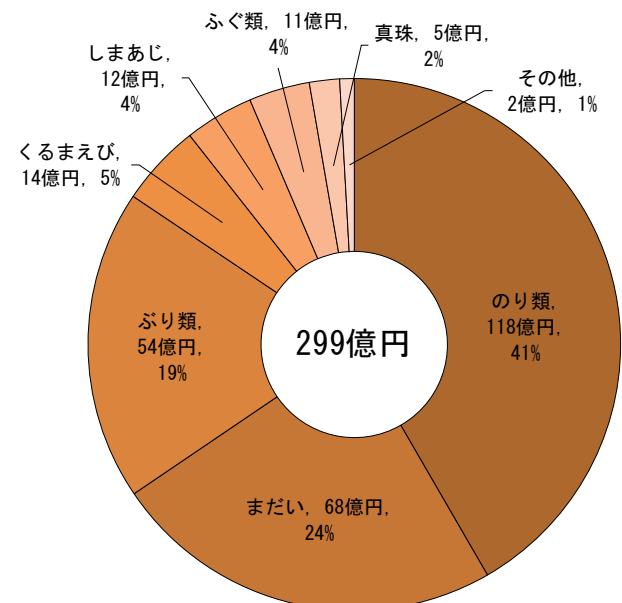
(資料) 農林水産省「農林水産統計年報」

- 令和3年（2021年）の海面漁業産出額は、43億円で、その主な内訳は、たちうお7億円（構成比16%）、たこ類3億円（構成比6%）となっています。
- 令和3年（2021年）の海面養殖業産出額は、299億円で、その主な内訳は、のり類118億円（構成比41%）、まだい68億円（構成比24%）、ぶり類54億円（構成比19%）となっています。

【海面漁業産出額の魚種別構成比（R3）】



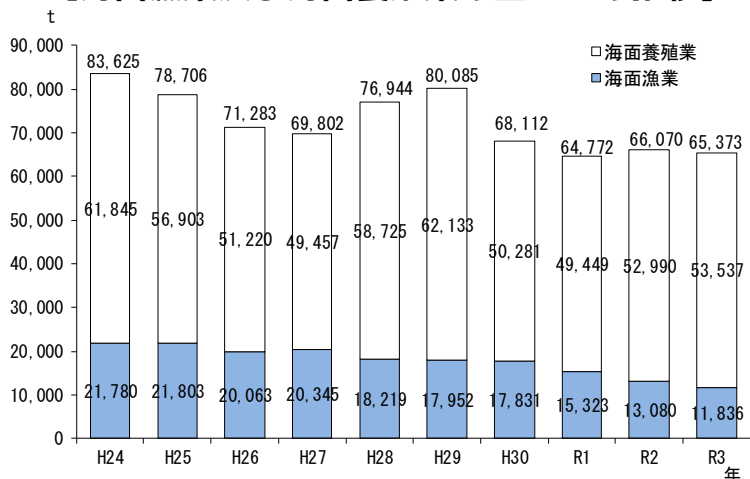
【海面養殖業産出額の魚種別構成比（R3）】



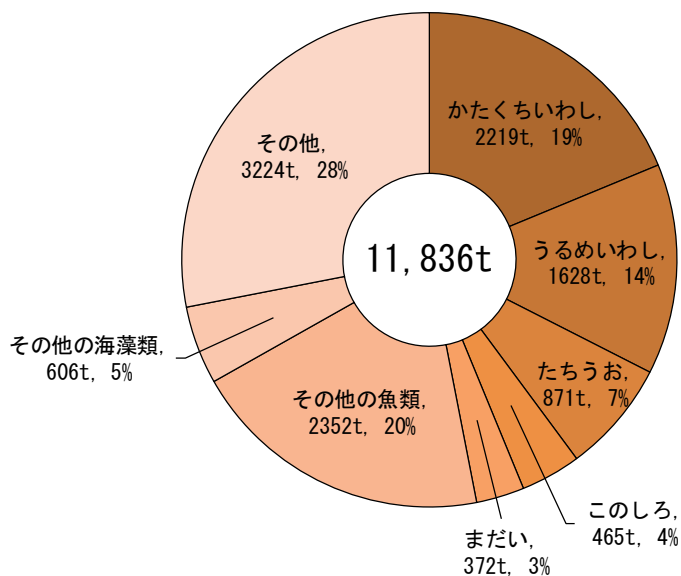
(資料) 農林水産省「農林水産統計年報」

- 令和3年（2021年）の海面漁業及び海面養殖業の生産量は65,373トンで、前年の66,070トンに比べ697トン減少（対前年比98.9%）し、全国第20位となっています。
- その内訳は、海面漁業生産量は11,836トンで、前年の13,080トンに比べ1,244トン減少し、全国第31位、海面養殖業生産量は53,537トンで、前年の52,990トンに比べ547トン増加し、全国第8位です。
- 魚種別に見ると、海面漁業では、かたくちいわしが全体の19%を占めており、次にうるめいわし、たちうおの順となっています。海面養殖業では、のり類が全体の67%を占めており、まだい、ぶりの順となっています。

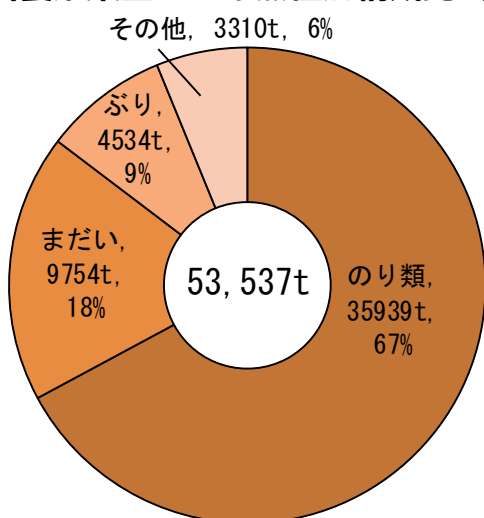
【海面漁業及び海面養殖業の生産量の推移】



【海面漁業生産量の魚種別構成比（R3）】



【海面養殖業生産量の魚種別構成比（R3）】



（資料）農林水産省「農林水産統計年報」

安心安全な くまもとの養殖魚

熊本県では、養殖業者の認証制度を導入しています。21項目に及ぶ審査基準をクリアした養殖業者を認証することで養殖魚の安全を確保し、消費者の皆様の安心につなげることを目指しています。

対象魚種 まだい、とらふぐ
ぶり、しまあじ等



認証マーク（安全・安心の証です）



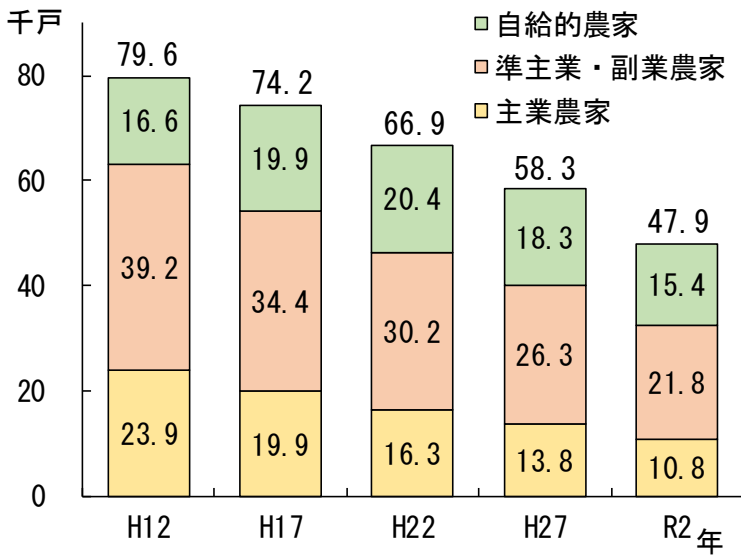
養殖現場の様子(上)/養殖されたぶり(下)

4 担い手

(1) 農業

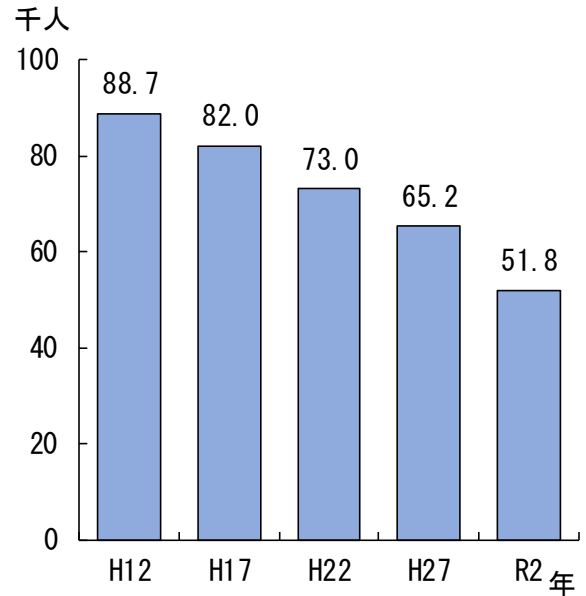
- 総農家数は全国的に減少しているなか、熊本県においても、令和2年（2020年）は平成27年（2015年）より10,535戸減少し、47,879戸となりました。
- 基幹的農業従事者（ふだん仕事として主に自営農業に従事している者）数は、後継者の減少や高齢化の進展によって減少傾向にあり、令和2年（2020年）には51,827人となっています。

【主副業別農家数の推移】



(資料) 農林水産省「農林業センサス」
「農業構造動態調査」

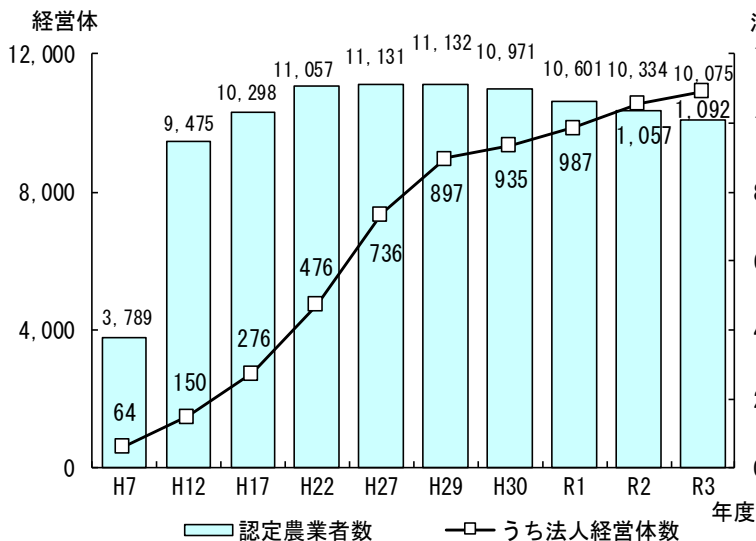
【基幹的農業従事者数の推移】



(資料) 農林水産省「農林業センサス」
「農業構造動態調査」

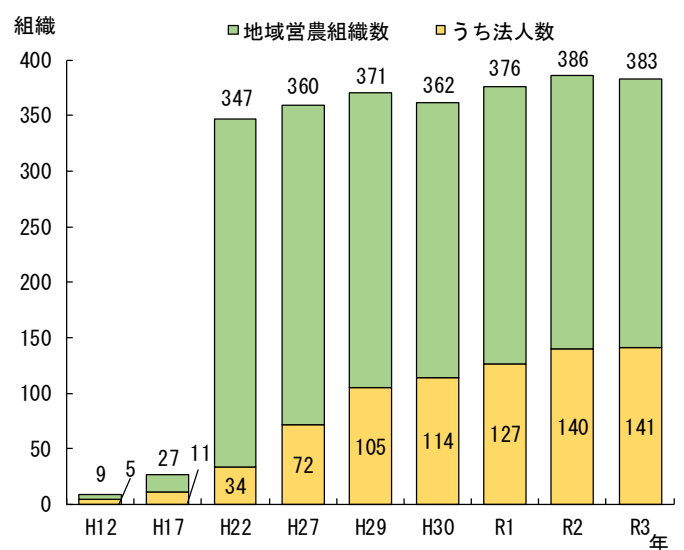
- 認定農業者数は、平成14年度（2012年度）に10,000経営体を超え、その後は、横ばい状態が続いています。なお、令和3年度末（2021年度末）は10,075経営体で、全国第3位の認定数となっています。
- 地域営農組織は383組織と前年並みとなっており、うち法人数も前年並みで推移しています。

【認定農業者数の推移】



(資料) 農林水産省「認定農業者の認定状況」

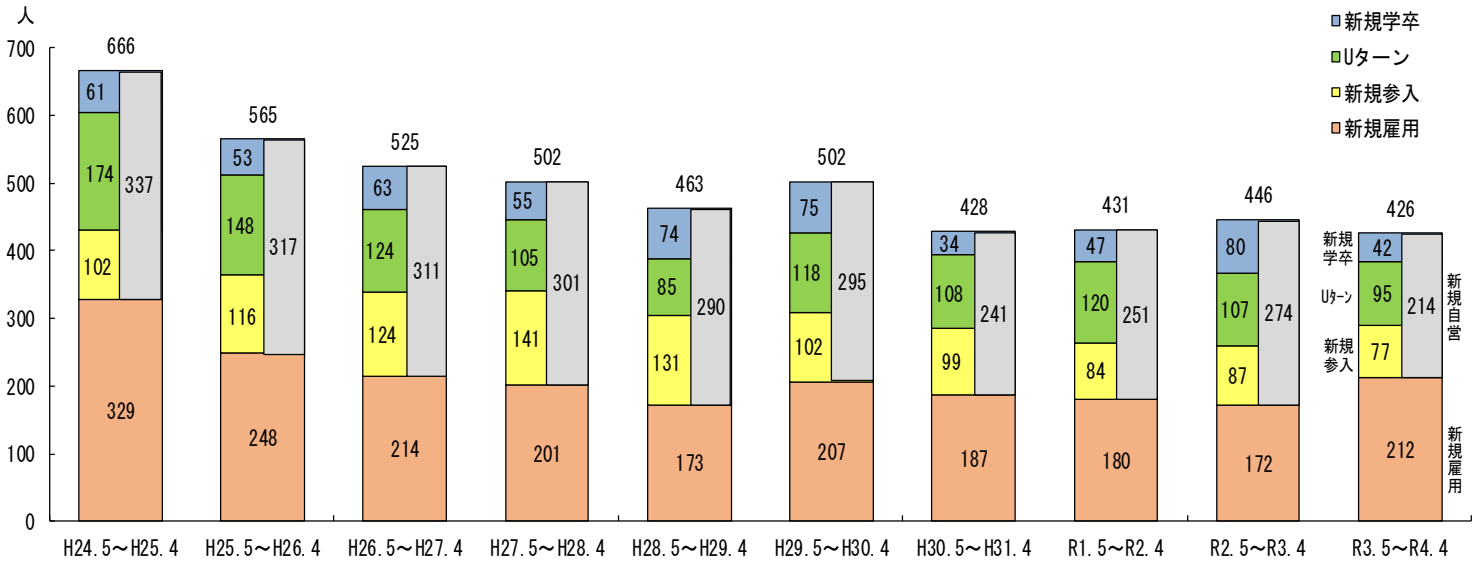
【地域営農組織数の推移】



(資料) 県農林水産部調べ

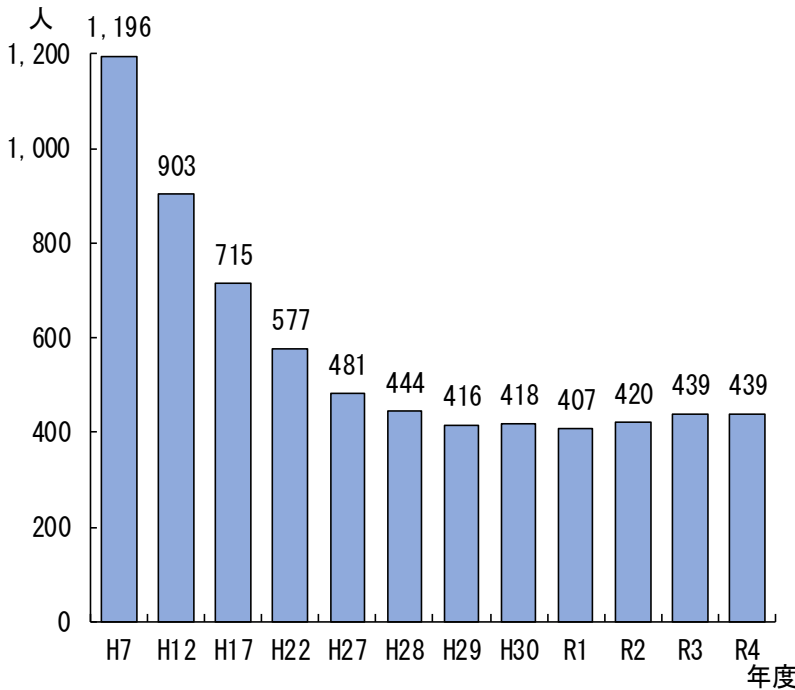
- 令和3年（2021年）5月から令和4年（2022年）4月までの新規就農者数は426人（前年比20人減）となりました。
- 令和4年度（2022年度）の青年農業者数は439人となり、前年度と同様でした。

【新規就農者数の推移】



（資料）県農林水産部、県農業会議「青年農業者・新規就農者実態補完調査」

【青年農業者数の推移】



（資料）県農林水産部、県農業会議「青年農業者・新規就農者実態補完調査」

（注）青年農業者とは、16歳から25歳までの者で、年間150日以上農業に従事している者。

農業経営継承の取組み

引退を考える農業者の経営資源を円滑に次世代に引き継ぐため、県やJA、県農業会議など12団体が一体となって令和3年6月に「くまもと農業経営継承支援センター」を設立し、移譲希望者情報のデータベース化やマッチング交流会等を行っています。

令和5年2月には、このセンターの支援を受けて第1号となる継承が成立し、「覚書」締結式を開催しました。

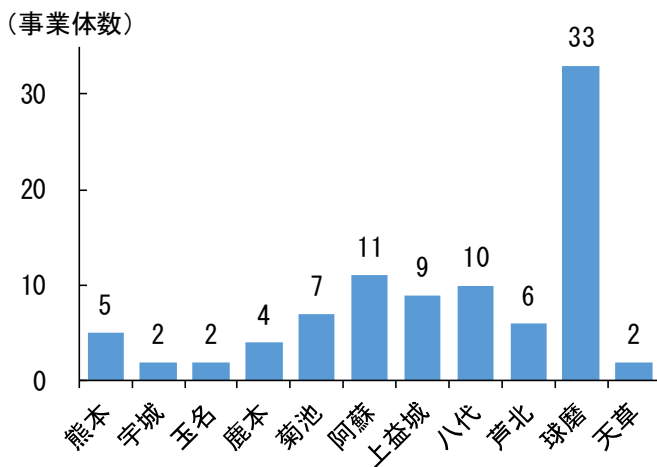


経営継承に関する覚書締結式（水俣市）

(2) 林業

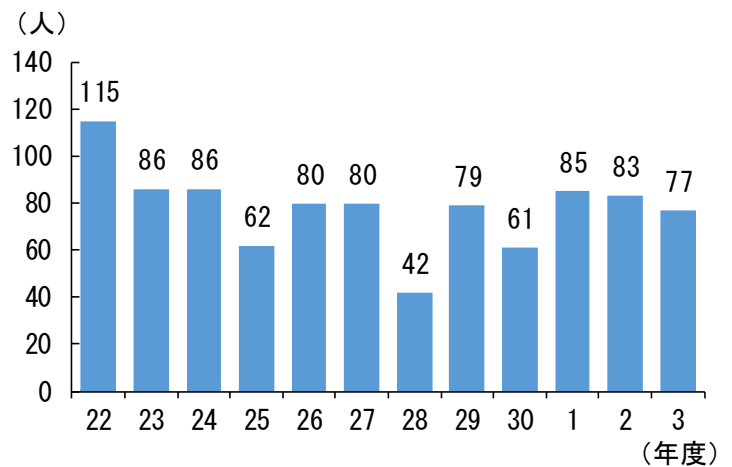
- 林業労働力の確保の促進に関する法律に基づく認定事業体は、令和4年（2022年）3月31日現在で91（前年比+2）の事業体が県知事の認定を受けています。
- 令和3年度（2021年度）の認定事業体における新規就業者数は77人となっており、近年は60～80名で推移しています。なお、平成28年度（2016年度）の新規就業者42人は、熊本地震に伴う建設業等の復興特需等により林業への新規就業者が他産業へ流れたことが推定されます。
- 地域林業の中核的担い手である森林組合は、森林の公益的機能の維持・増進を図るため、森林整備事業及び販売・加工事業等に取り組んでいます。

【認定事業体（R4.3.31）】



(資料) 県林業振興課調べ

【新規就業者数の推移】



(資料) 県林業振興課調べ

【熊本県の森林組合の状況（R3年度）】

項目	単位	本県	1県当たりの全国平均
組合数	組合	15	13
組合員数	人	35,776	31,393
1組合当たりの組合員数	人	2,385	2,419
組合員所有森林面積	ha	285,033	223,019
組合雇用労働者数	人	456	280
事業総利益	百万円	2,890	1,407
木材取扱材積	m ³	451,399	180,220
新植面積	ha	693	348
保育面積	ha	5,136	3,606

(資料) 全国：農林水産統計「令和3年度森林組合一斉調査結果」
本県：県団体支援課調べ

林業大学校

林業大学校では、林業に必要な技術と現場力を兼ね備えた即戦力となる人材の育成、そして意欲と能力のある林業経営者を養成することで、次世代をリードする林業担い手の確保・育成を図っています。

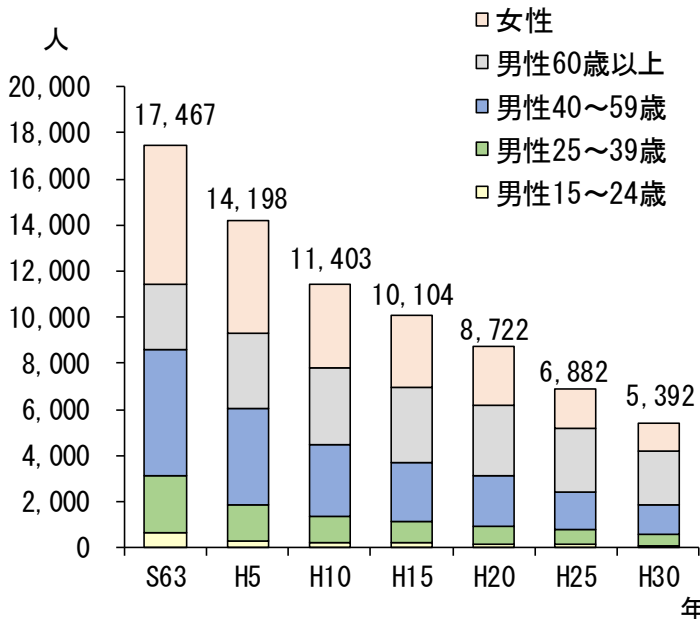


林業大学校の授業風景

(3) 水産業

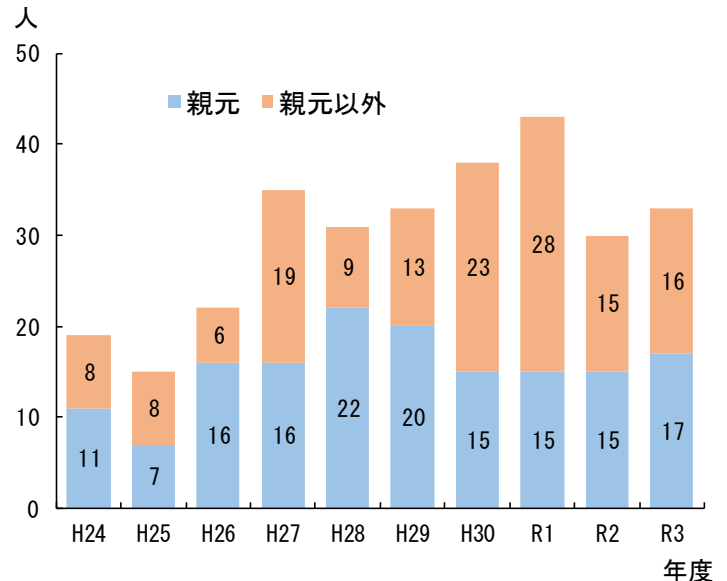
- 平成30年（2018年）の本県漁業就業者は、全国第9位の5,392人で、平成5年（1993年）の38%にまで減少しています。
- 漁業就業者のうち、60歳以上の占める割合は57%と高齢化が進行しています。
- 漁業就業者に占める女性漁業者の割合は22%であり、全国平均の12%と比べると高くなっています。
- 令和3年度（2021年度）の新規漁業就業者数は、33名で増加しています。

【漁業就業者数の推移】



(資料) 農林水産省「漁業センサス」

【新規漁業就業者数の推移】



(資料) 県水産振興課調べ

漁業者の担い手育成

熊本県では、漁業体験・マッチング・就業定着支援・就業後の研修をワンストップで行うことで、新たに漁業に就業する方が、円滑に就業・定着できるように支援するほか、漁業者のさらなるスキルアップを図る研修体制の整備を行っています。

熊本県漁業就業支援協議会による漁業就業フェア等への出展や体験漁業などを開催し、就業される方と指導者・受入漁村とのマッチングを図ります。

水産研究センターでは就業前の研修を実施しており、就業に必要な技術習得を支援しています。

また、就業時には漁船や漁具等の購入や国の長期研修が活用できるようフォローアップを図っています。

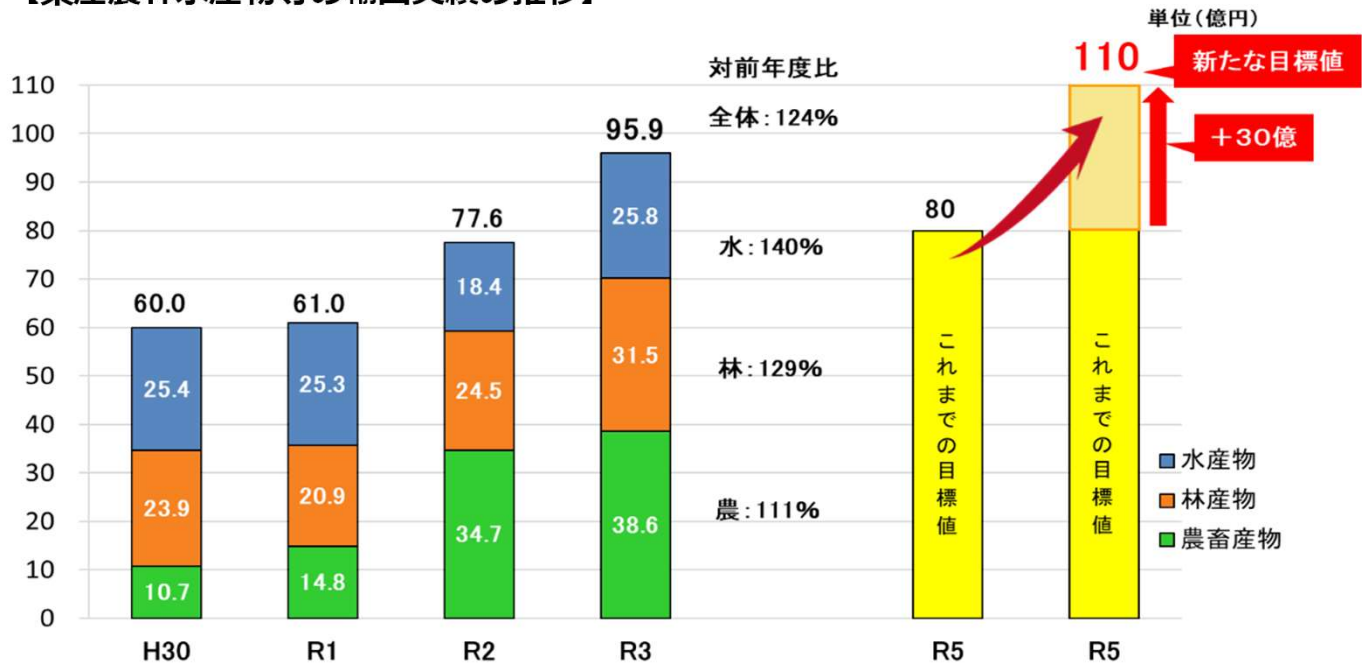


漁業就業者フェア（東京会場）

5 流通

- 令和3年度（2021年度）の本県産農林水産物等の輸出額は、95.9億円（対前年度比124%）となり過去最高を更新しました。
- 目標金額80億円を2年前倒して達成したため、110億円の目標金額に見直しました。

【県産農林水産物等の輸出実績の推移】



(資料) 県観光戦略部、県農林水産部調べ

<農畜産物>

アメリカでは外食需要の回復やアジアではコロナ禍での巣ごもり需要を捉え、販路拡大に積極的に取り組んだ結果、米やかんきつ、牛肉、牛乳、加工食品の輸出額が増加し、過去最高となりました。

<林産物>

最大の貿易相手国である中国に対し、新型コロナウイルス感染拡大後の経済回復に伴う丸太輸出が増加、更に、新規航路（八代港～基隆港）の就航により台湾への輸出が増加し輸出量、輸出額ともに過去最高となりました。

<水産物>

北米、アジア（韓国、中国、香港、台湾等）向けに、ぶり、まだい、しまあじ等の養殖魚を中心に輸出、主要な輸出先である北米の経済活動が回復し、輸出額が大幅に増加したことから、輸出額は過去最高となりました。

熊本県産あさりの販売を再開しました！ 「熊本モデル」の開始

県では、消費者の皆様へ熊本生まれ・熊本育ちのあさりをお届けする「熊本モデル」により、令和4年4月中旬から純熊本県産あさりの販売を再開しました。

「熊本モデル」においては、QRコードやクラウド等のデジタル技術を活用したトレーサビリティシステムを導入し、生産地から小売店まで一貫した監視体制のもと、透明性の高い安心安全な純熊本県産あさりの流通体制を構築しています。



知事トップセールス



熊本県産あさりに貼付するくまモンシール

6 農畜産物出荷カレンダー

出荷最盛期 出荷時期

種類	品名	主な生産地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
野菜類	すいか	熊本・鹿本・上益城・菊池												
	メロン													
	アールスメロン	熊本・宇城・熊本・八代												
	アンデスメロン	宇城・球磨・菊池・熊本												
	クインシーメロン	宇城・八代・熊本												
	肥後グリーンメロン	八代・宇城												
	トマト	八代・玉名・宇城・熊本 阿蘇・上益城												
	いちご	玉名・八代・球磨・宇城・阿蘇												
	なす	熊本・宇城・玉名 球磨・熊本・玉名												
	れんこん	宇城・熊本・八代												
	さといも	菊池・球磨・阿蘇・上益城												
	ピーマン	上益城・阿蘇												
	ごぼう	菊池・阿蘇												
	さやいんげん	天草・球磨・上益城												
	キャベツ	八代・熊本 阿蘇・上益城												
	にんじん	菊池・熊本												
	だいこん	菊池 阿蘇												
	レタス	天草・八代												
	きゅうり	宇城・熊本 球磨・阿蘇・熊本・菊池・上益城												
	ほうれんそう	阿蘇												
たまねぎ	熊本・芦北・天草													
しょうが	宇城・八代													
かんしょ	菊池・上益城・阿蘇													
果実類	かんきつ類													
	温州みかん	玉名・熊本・宇城												
	不知火(デコポン)	宇城・芦北・天草												
	甘夏	芦北・宇城・天草												
	ポンカン	天草・宇城												
	清見	天草・宇城・芦北												
	河内晩柑(ジューシーオレンジ)	天草												
	ネーブル	宇城												
	大橋(パール柑)	宇城・天草												
	晩白柚	八代												
	ハウスミカン	熊本・玉名												
	なし													
	幸水	球磨・八代・玉名・熊本												
	豊水	球磨・玉名・熊本・八代												
	新高	玉名・八代												
	くり													
	筑波・銀寄・など	熊本・球磨・上益城・菊池・玉名												
ぶどう														
巨峰	宇城・熊本・菊池													
桃	球磨・玉名・熊本・熊本・宇城													
かき	宇城・上益城・菊池・熊本													
びわ	天草													
ブルーベリー	上益城													
花き類	キク	熊本・上益城・熊本・球磨												
	宿根カスミソウ	菊池・天草・宇城												
	トルコギキョウ	阿蘇・菊池・八代・熊本・球磨・天草												
	バラ	熊本・阿蘇・玉名												
	カーネーション	熊本・阿蘇・上益城												
	カラー	熊本・八代												
	スターチス類	天草・菊池・八代・阿蘇												
特産	畳表(いぐさ)	八代・宇城・球磨												
	茶	球磨・菊池・上益城・八代・熊本・芦北												
畜産	牛乳・牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵	県下全域												

第3章 農林水産各計画の概要

熊本県食料・農業・農村基本計画～未来につながる魅力あふれる「くまもと農業」の実現～

時代の変化に対応した稼げる「くまもと農業」の確立

1 生産力・商品力・産地力の強化

- ① スマート農業の導入による省力化・生産性の向上
- ② スケールメリットを活かした大規模法人の新たな経営展開
- ③ 生産・集出荷施設の再編
- ④ 安全・安心で信頼・魅力のある商品づくり
- ⑤ 現場・消費ニーズに対応した新品種、新技術の開発・普及
- ⑥ 地域全体で取り組む畜産の収益性向上

2 担い手の確保・育成及び多様な人財の総結集

- ① 円滑な経営継承による担い手の確保
- ② 多様な就農形態に対応した新規就農者の確保・育成
- ③ 戦略的な農業経営に取り組む担い手の育成
- ④ 地域営農組織の育成
- ⑤ 企業など農業参入の促進
- ⑥ 外国人材等の確保・活躍
- ⑦ 農福連携による活躍の場の拡大

3 経営力を高める農業生産基盤の強化

- ① 担い手への農地集積の更なる加速化
- ② 生産性向上に向けた基盤・施設の整備
- ③ 農業団体の経営基盤・活動の充実強化

4 国土強靱化の推進とリスク対応力の強化

- ① 国土強靱化に向けた防災・減災対策の加速化
- ② 自然災害・価格低迷等に対応したリスク軽減対策の推進
- ③ 家畜伝染病侵入リスクを最小化する防疫体制の強化

5 県産農産物の販売力とサプライチェーンの強化

- ① 県産農産物の販売力強化
- ② 6次産業化等の推進
- ③ 地産地消、食文化の継承
- ④ 県産農産物の輸出推進



中山間地域等における魅力と活力あふれる持続可能な農村づくり

1 中山間地域の特色を活かした多様な収入の確保と担い手づくり

- ① 中山間地域における柱となる所得の確保対策と先進事例の波及
- ② 中山間地域を支える多彩な担い手の確保・育成

2 次世代に引き継ぐ生産環境の整備と

農業・農村の多面的機能の維持・発揮

- ① 中山間地域の実態に応じた基盤整備と農地集積の推進
- ② 地域活動を柱とした多面的機能の維持・発揮
- ③ 地下水と土を育む農業の推進

3 魅力ある地域資源を活用した中山間地域等の振興

- ① 地域資源を活かした農村の活性化とスーパー中山間地域の創生
- ② 交流や他分野との融合による地域活力の向上

4 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進

- ① 地域ぐるみの総合的な鳥獣被害防止対策の推進
- ② 「くまもとジビエ」利活用の推進

熊本県森林・林業・木材産業基本計画～持続可能な森林経営と多様で豊かな森林づくりに向けて～

1 森林資源の持続的な利用による稼げる

林業の実現

- ① 集約化による効率的な森林経営の確立
- ② スマート林業技術導入などによる林業生産性の向上
- ③ 循環利用のための再造林の着実な実施
- ④ 特用林産物の生産振興

2 林業を支える“山の人財”づくり

- ① 担い手の確保・育成



3 県産木材の利活用の最大化

- ① 建築分野における木材の需要拡大
- ② 木材輸出や木質バイオマスなどにおける需要拡大
- ③ 市場のニーズに応じた木材供給体制の整備
- ④ 県民総ぐるみによる木材利用に向けた理解の醸成

4 防災・減災や地球温暖化防止等に 寄与する多様で健全な森林づくり

- ① 多面的機能の発揮に向けた適正な森林管理の推進
- ② 県民の安全・安心のための森林づくりの推進
- ③ 森林病虫獣害対策等の推進
- ④ 県民参加の森林づくりの推進
- ⑤ 森林の多面的機能を支える研究・技術開発と普及の推進

熊本県水産基本計画～くまもとの豊かな海づくりと稼げる水産業の実現に向けて～

1 水産業を支える人づくり

- ① 漁村を担う人づくり
- ② 意欲ある漁業者の経営安定対策の強化
- ③ 漁業協同組合の経営基盤強化

2 水産資源の持続的利用と水産基盤づくり

- ① 資源管理型漁業と栽培漁業の推進
- ② 水面の総合利用と漁業秩序
- ③ 漁場環境の保全
- ④ 安全・安心な漁村づくり

3 養殖業の生産性向上

- ① 海面養殖業の振興
- ② 内水面養殖業の振興
- ③ 新技術開発

4 稼げる水産業の推進と販売体制の整備

- ① 県産水産物の販売力の強化
- ② 地産地消と魚食普及の推進
- ③ 浜の活力再生プランの加速化と支援



関連サイト

流通アグリビジネス課
「くまもとのアグリ&フード」
<https://www.kumamoto-agribiz.jp>



「くまもと地産地消公式SNS」
『KUMA RICH』



LINE



Facebook



Instagram

農業技術課
「AGRIくまもと」
<https://agri-kumamoto.jp>



むらづくり課
「くまもとふるさと応援ネット」
<https://furusato.pref.kumamoto.jp>



林業振興課
「くまもと林業大学校」
<https://www.kumamoto-forestry.ac.jp>



水産振興課 公式サイト
IG: [suisanshinkou_kumamoto](#)
FB: 熊本県水産振興課

→
イン
スタ
グラ
ム



→
フ
ェ
ィ
ス
ブ
ッ
ク



第4章 研究機関の取組み

1 各研究機関の概要

【農業研究センター】

- 熊本県農業研究センターは、農業技術開発の拠点として平成元年（1989年）4月に開所しました。センター内には主要作物等に対応した、7つの専門研究所と3つの地域研究所があります。
- 熊本県農業試験研究推進構想に基づき、稼げる農業を目指して、農業者の所得を最大化するとともに、環境にやさしい農業や地球温暖化にも対応できるよう、新品種の育成、新たな栽培・飼養管理技術の確立などに取り組み、技術革新の拠点・農業情報の発信基地としての役割を果たしています。



ヒートポンプ高度利用技術の開発
(アグリシステム総合研究所)



温暖化ガス排出削減等技術開発
(生産環境研究所)

農業研究センター
ホームページ Twitter



【林業研究・研修センター】

- 熊本県林業研究・研修センターでは、熊本県森林・林業・木材産業基本計画に基づき、「森林経営」「林地保全」「県産木材の需要拡大」「特用林産物の生産力強化」の4つの観点でテーマを設け、計画的かつ効果的な試験研究を行うとともに、林業技術の取得向上に必要な各種研修を行っています。
- 森林の多面的機能を最大限発揮させるため、持続可能な森林経営の確立や県民の安全安心に資する森づくりとともに、県内各地域の実情に応じた研究・技術開発とその普及を進めます。



林業研究・研修センター

熊本県ホームページ



【水産研究センター】

- 熊本県水産研究センターでは、熊本県水産基本計画に基づき、水産資源の回復と魅力ある水産業の創出を目指して、試験研究等に取り組んでいます。
- 調査研究の実施にあたっては、国、関係県はもとより大学等の研究機関と積極的に連携して研究開発の高度化・効率化をはかるとともに、各広域本部水産課の水産普及指導員、市町、漁業者等と連携しながら研究成果や水産技術の活用・普及を行っています。



漁業調査船「ひのくに」

熊本県ホームページ



2 品種の開発・選定

※「 」は品種名

米

「くまさんの輝き」



- ◆ツヤ・粘りがある極良食味品種。高温登熟性に優れ、倒伏しにくい。
- ◆R1年度 品種登録

はな にしき 「華 錦」



- ◆酒造好適米品種。倒れにくく、大粒で充実良好。吟醸酒～純米酒の製造に使用。
- ◆H28年度 品種登録

茶

「熊本TC01」



- ◆新芽が大きく、濃い。「やぶきた」より収量・荒茶品質が優れる。
- ◆品種登録出願中

花き

「熊本FC01」(ホワイトトーチ)



- ◆苞（花に見える部分）は純白で、茎は細く、品質が優れる湿地性カラー。疫病にも強く多収。
- ◆H24年度 品種登録

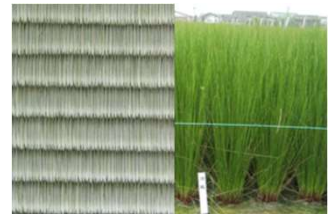
「熊本FC03」



- ◆苞が大きく緑が濃く、商品性が優れるグリーン系の湿地性カラー。収量は「ホワイトトーチ」と同程度。
- ◆品種登録出願中

いぐさ

すず かせ 「涼 風」



- ◆収量が多く、茎が中太で十分硬く、畳表の生産性が高い。枯死株が少ないのも特徴。早刈栽培向け。
- ◆H26年度 品種登録

野菜

「熊本VS03」(ゆうべに)



- ◆収量性に優れ、特に年内収量が多い。糖酸のバランスが良く、大玉で着色も優れる。
- ◆H28年度 品種登録

「ヒゴムラサキ2号」



- ◆「ヒゴムラサキ」の着色性を改善し、舌出し果の発生を軽減。
- ◆H29年度 品種登録

果樹

「熊本EC12」



- ◆12月に成熟し、高品質で食味が良く、栽培しやすい早生カンキツ。
- ◆R1年度 品種登録

畜産

きく ゆき 菊 幸



- ◆検定成績は脂肪交雑が歴代1位で枝肉重量、ばらの厚さもトップクラスと肉質、肉量に優れている褐毛和種雄牛。
- ◆R4年度 選抜

ゆきかつひら 幸勝平



- ◆第11回全国和牛能力共進会第1区で優等賞を受賞し、去勢の枝肉重量、脂肪交雑・ばらの厚さの検定成績が歴代1位と種牛性、肉質、肉量ともに優れている黒毛和種雄牛。
- ◆R4年度 選抜

ただひらゆき 忠平幸



- ◆雌の枝肉重量、ロース芯面積、ばらの厚さの検定成績が歴代1位と肉質、肉量ともに優れている黒毛和種雄牛。
- ◆R4年度 選抜

第5章 農林水産部組織図（令和5年4月1日現在）

